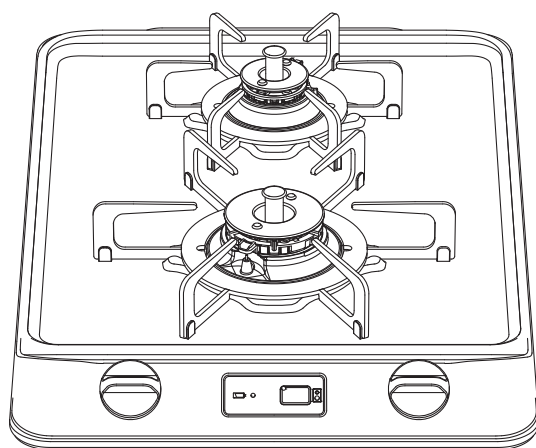


家庭用

Si 全口センサー搭載
センサーコンロ

ガスビルトインコンロ 取扱説明書 保証書付

品名コード	DC2020SK
型式名	DC2020S



このたびは、ハーマンのガスビルトインコンロをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

よく読んで安全に正しくお使いください

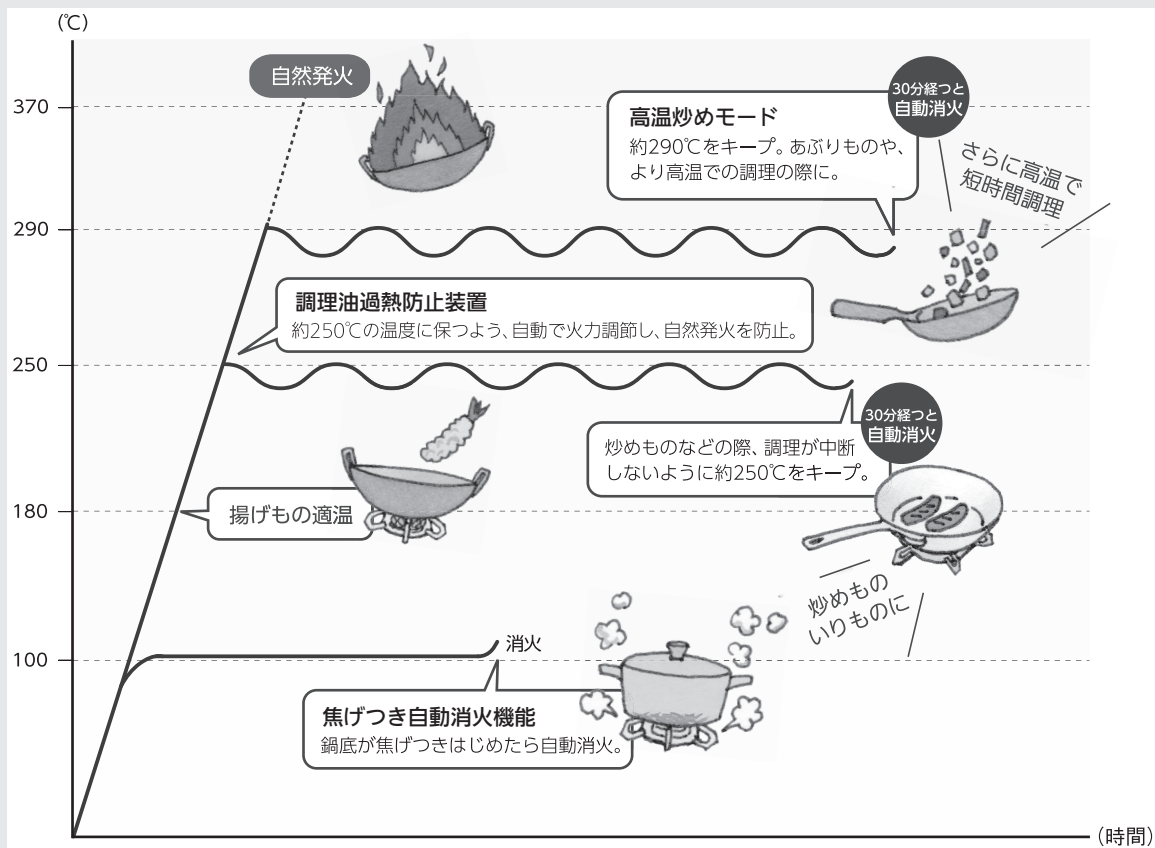
- この取扱説明書は、いつでも利用できる場所に大切に保管してください。
- この取扱説明書の38ページが保証書になっています。
お買い上げ日、販売店名、保証内容などをよく確認し、大切に保管してください。
- 来客者などが機器を使用するときは、その前に必ず取扱説明書の内容を説明してください。
- この機器は家庭用ですので、業務用のような使いかたをされますと、著しく寿命が短くなります。
- この機器は国内専用です。海外では使用できません。
- 本書を紛失された場合や、ご不明な点があれば販売店または、弊社窓口にお問い合わせください。

Siセンサーコンロについて

Siセンサーコンロ

安心(Safety)、便利(Support)、笑顔(Smile)を約束する、
賢い(Intelligent)センサーを搭載した、進化したコンロです。

温度センサーのはたらき



◎風や煮こぼれで火が消えた場合、
自動的にガスを止めます！

立消え安全装置

◎万一消し忘れても、一定時間で自動消火します！

消し忘れ消火機能

◎天ぷら油の過熱を未然に防止します！

調理油過熱防止装置

◎煮ものなどの焦げつきを初期段階で検知し、
自動消火します！

焦げつき自動消火機能

とくに多いご質問です

・使用していないのにブザー音がする

お知らせ機能がはたらいているためです。

自動消火した場合、器具栓つまみを戻し忘れると、1分おきにブザー音『ピピッ』(5回)でお知らせします。

戻し忘れたまま放置すると、乾電池の消耗が早くなります。必ず器具栓つまみを「OFF」の位置まで回し、「消火の状態」に戻してください。
※他のバーナーを使用中は、ブザー音は鳴りません。



・勝手に火が小さくなったり、火が消えたりする

安心・安全機能がはたらいているためです。

自動的に火力を弱火に調節したり、自動消火し、高温になり過ぎることを防止します。

また、高温炒めボタンを押すと、通常時より高温での調理ができますが、異常過熱を防止するために温度センサーの温度が上がりすぎたり、約60分(高温で自動火力調節している状態の場合は約30分)連続使用すると、消し忘れ消火機能がはたらき自動消火します。

※自動火力調節で弱火になっている場合は、火力を強くしても受け付けません。



・電池交換サインが点滅している

乾電池が消耗しているためです。

新品のアルカリ乾電池(単1形：2個)と交換してください。

乾電池を交換する(電池交換サイン点滅)めやすは約1年です。(付属の乾電池は、お試し用のため、新品のアルカリ乾電池と比較して寿命が短くなります。)



※  内の数字は、参照ページを示しています。

もくじ

各部のなまえ 3

安全なご利用のために

必ずお守りください(安全上の注意)・・・ 5

このコンロについて

安心・安全機能／お知らせ機能・・・ 13

乾電池を交換する 15

毎日の使いかた

コンロを使う準備 16

コンロの使いかた(基本操作)..... 17

高温炒めモード(前コンロ)..... 19

長くご利用いただくために

日常点検とお手入れ 21

お手入れ 23

よくあるご質問 28

ブザー報知とお知らせ表示 33

長期間使用しない場合／仕様 35

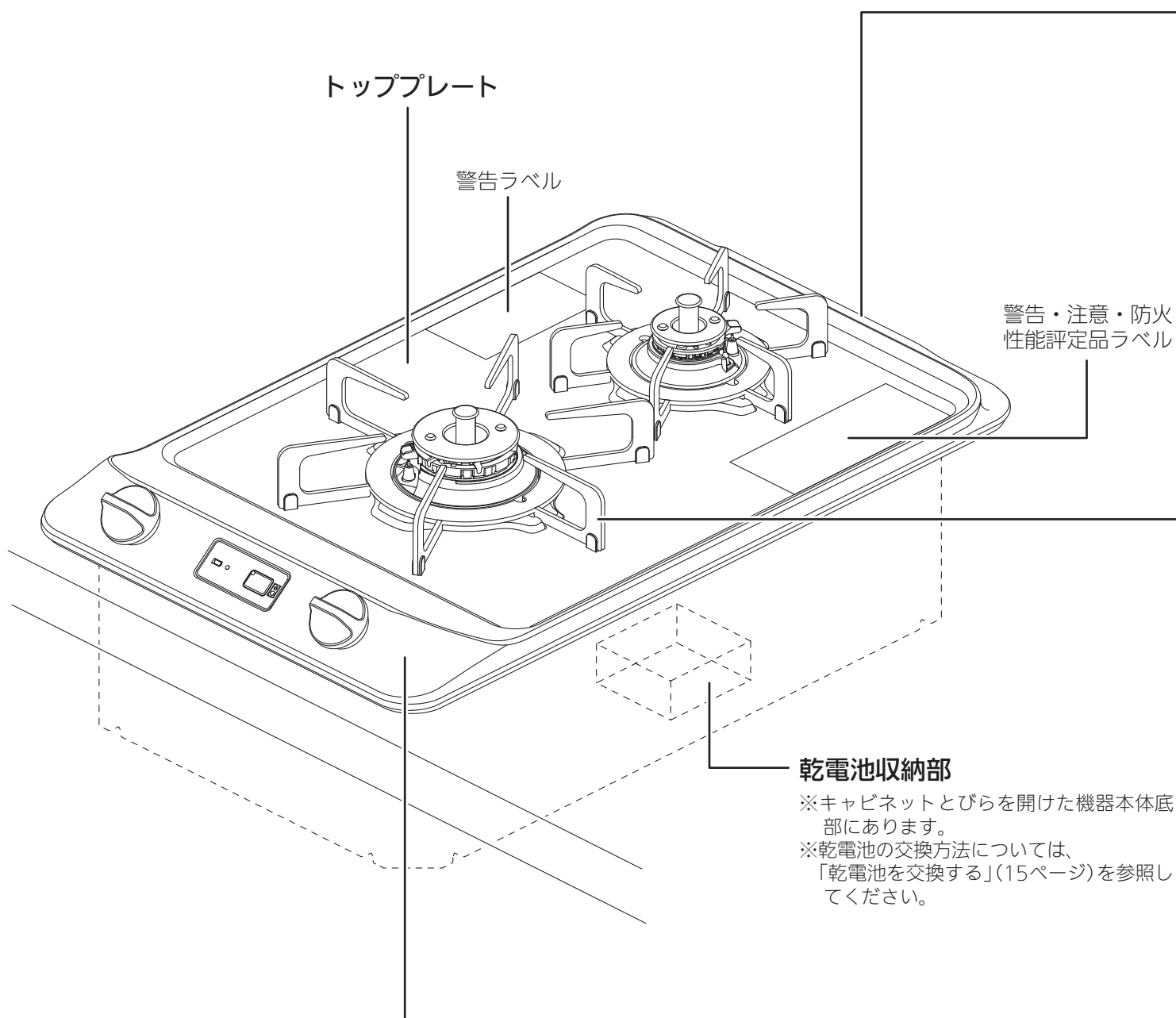
アフターサービス／廃棄時のお願い .. 36

交換部品(消耗部品)／別売部品 ... 37

保証書 38

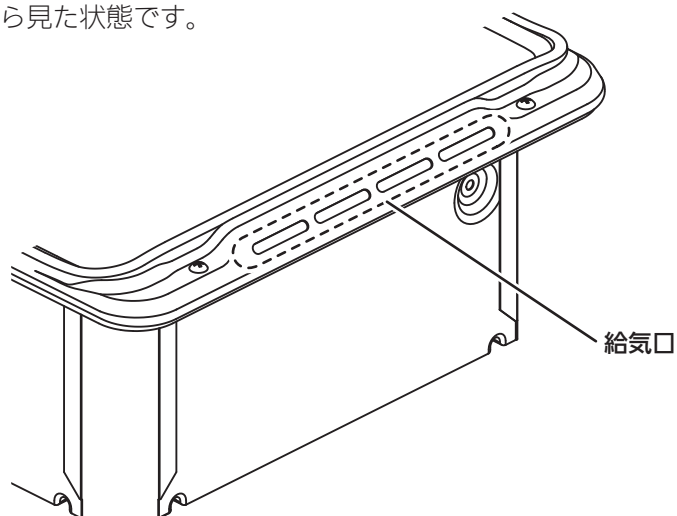
各部のなまえ

・取り付け方法については、「お手入れ」(23～26ページ)を参照してください。



給気口部

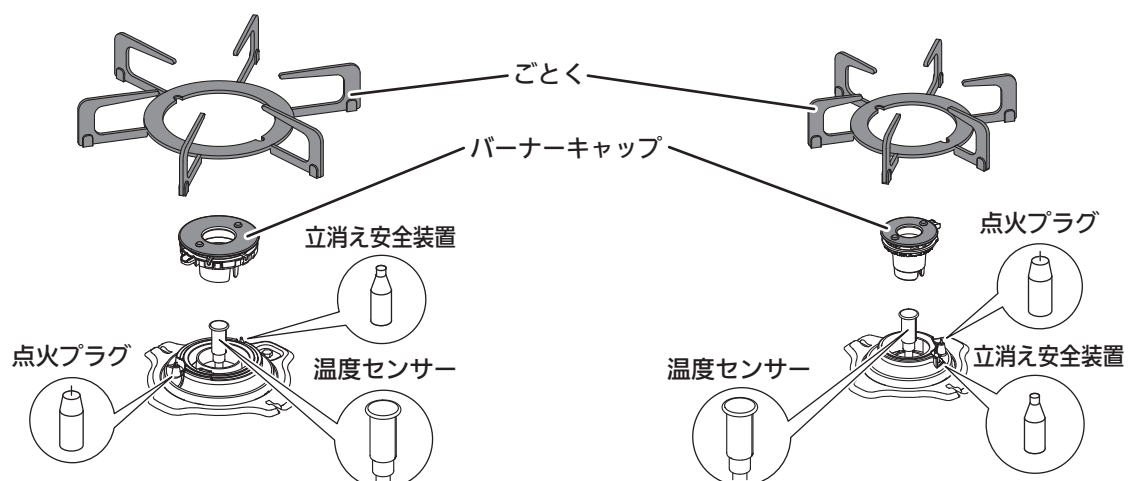
※イラストは、機器後方から見た状態です。



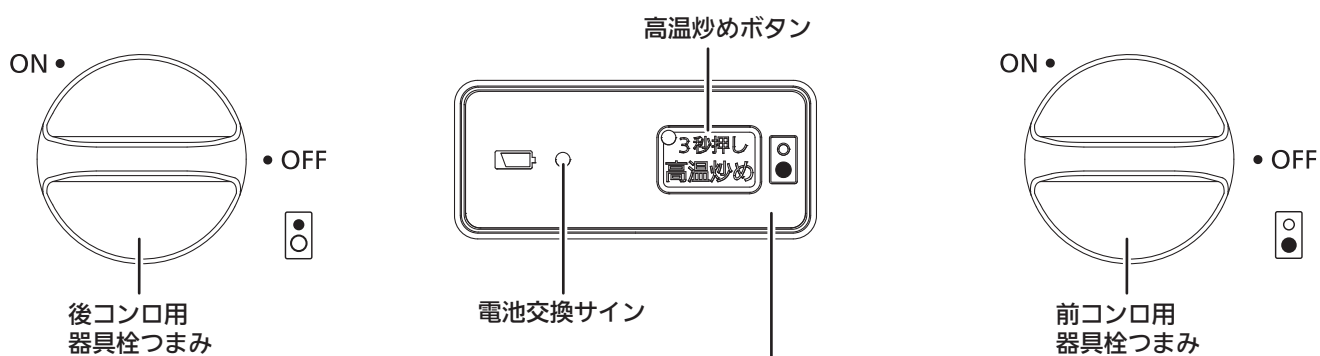
コンロ部

前コンロ

後コンロ



操作部



※保護シートが貼ってある場合があります。
使用する際には取り外してください。

必ずお守りください（安全上の注意）

安全に正しく使用していただくために必ずお読みください

使用される方や他の方への危害、財産への損害を未然に防止するために、つぎのような区分、表示をしています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りいただき、内容を理解して正しく使用してください。

■危害、損害の程度による内容の区分

 危険	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険または、火災が切迫して生じることが想定される内容です。
 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性または、火災が想定される内容です。
 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が軽傷を負う可能性および物的損害のみが発生する可能性が想定される内容です。
お願い	安全に快適に使用していただくために、理解していただきたい内容です。

■注意、禁止内容の絵表示

 必ず守る	 換気する	 禁止	 火気禁止
 分解禁止	 接触禁止		

ガス漏れに気づいたときは

危険



火気禁止

- ・絶対に火をつけない
- ・電気器具（換気扇など）のスイッチの入／切をしない
- ・電源プラグの抜き差しをしない
- ・周辺で電話を使用しない

火や火花で引火し、爆発事故を起こすことがあります。



必ず守る

- ・すぐに使用をやめる
- ①火を消し、ガス栓を閉める。
 - ②窓や戸を開け、ガスを外に出す。
 - ③販売店または、もよりのガス事業者（供給業者）に連絡する。



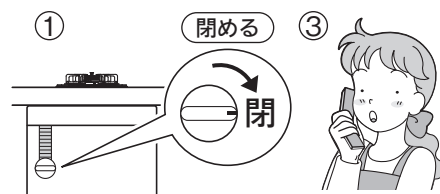
異常時

警告



必ず守る

- ・点火しない場合または、使用中に異常な燃焼、臭気、異常音などを感じたときは、すぐに使用をやめる
- ①火を消し、ガス栓を閉める。
 - ②『よくあるご質問』（28～32ページ）、『ブザー報知とお知らせ表示』（33～34ページ）に従い、処置をする。
 - ③上記の処置をしても、なおらない場合は、販売店または、弊社窓口に連絡する。



必ず守る

- ・地震、火災などの緊急の場合は、ただちに使用を中止し、ガス栓を閉める

使用時や使用後は



- ・点火、消火のあとは、必ず炎を確かめる
火災や思わぬ事故の原因になります。
※また、使用後は、ガス栓を閉めてください。

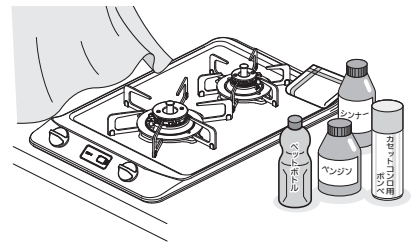


- ・使用するバーナーの器具栓つまみを確認してから点火操作をする
間違って操作すると、別のバーナーが点火して、火災や思わぬ事故の原因になります。
- ・点火操作をしても点火しない場合は、器具栓つまみを「OFF」の位置まで回して、「消火の状態」に戻し、周囲のガスがなくなってから再度点火する
すぐに点火操作をすると、周囲のガスに引火して衣服に燃え移ったり、やけどをするおそれがあります。

機器周辺には



- ・爆発のおそれがあるもの、引火しやすいものや燃えやすいものを機器の近くで使用したり、置いたりしない
- ・熱で圧力が上がるもの(スプレー缶、カセットコンロ用ボンベなど)
爆発のおそれがあります。
- ・引火しやすいもの(スプレー、ガソリン、ベンジンなど)
- ・燃えやすいもの(ペットボトル、プラスチック類、ふきん、タオル、カーテン、調理油、新聞紙、ビニールシートなど)
火災の原因になります。



- ・調理以外の用途には使用しない
練炭の火起こしや衣類(ふきんなど)の乾燥などに使用しないでください。異常過熱、異常燃焼による機器焼損、火災の原因になります。



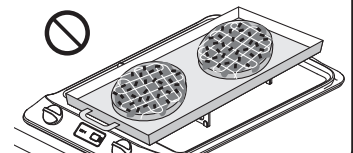
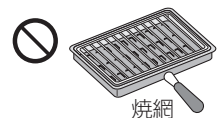
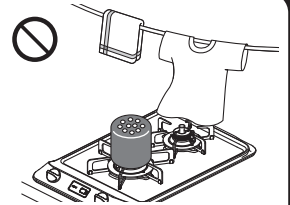
- ・補助具(アルミはく製する受け、省エネごとくなど)は、機器に付属または機器指定の補助具以外、使用しない
一酸化炭素中毒や機器の異常過熱のおそれがあります。



- ・焼網は使用しない
トッププレートに落ちた油などが発火したり、機器の異常過熱のおそれがあります。



- ・コンロをおおうような、大きな鉄板や鍋は使用しない
不完全燃焼をおこしたり、機器の異常過熱のおそれがあります。



必ずお守りください (安全上の注意)

使用中は



- ・火をつけたまま離れない
- ・火をつけたまま就寝や外出は絶対にしない

調理中のものが焦げたり燃えたりするなど、火災の原因になります。

※とくに天ぷらや揚げもの調理をしているときは注意してください。

電話や来客の場合は、一旦火を消してください。



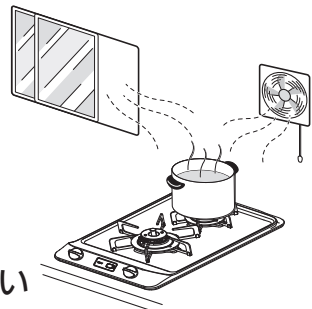
換気する

- ・必ず換気をする

窓を開けたり換気扇を回すなど、換気を行ってください。

換気を行わずに、他の燃焼機器と同時に使用した場合など、不完全燃焼による一酸化炭素中毒の原因になります。

※屋内設置(密閉式は除く)の給湯器やふろがまを使用している場合は、換気扇を回さず、窓を開けて換気をしてください。換気扇を回すと給湯器やふろがまの排気ガスが逆流して一酸化炭素中毒の原因になります。



禁止

- ・点火操作時や使用中は、バーナー付近に顔や手などを近付けない

炎や熱で顔や手などに、やけどをするおそれがあります。



接触禁止

- ・使用中や使用直後は操作部以外には触れない

機器本体とその周辺や調理用具の熱で、やけどのおそれがあります。

・1カ所だけのコンロを使用している場合でも、使用していないコンロ側のトッププレートも熱伝導で熱くなる場合があります。



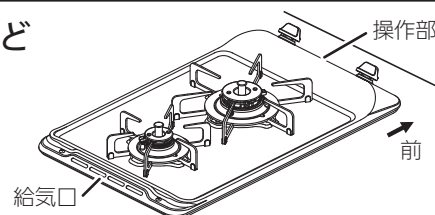
禁止

- ・機器後方の給気口に、ふきんやタオル、アルミはくなどをのせたり、ふさがない

- ・機器後方の給気口の周りには、ものを置かない

思わぬ事故や故障の原因になります。

※異物が入った場合は、弊社窓口にお問い合わせください。



必ず守る

- ・子供だけで使わせたり、乳幼児が触れないように注意する

やけどやけがなど思わぬ事故の原因になります。



禁止

- ・操作部などのすき間に異物を入れない

思わぬ事故や故障の原因になります。

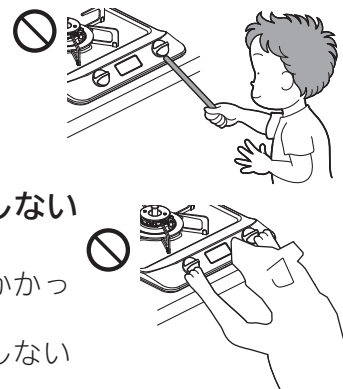


必ず守る

- ・ペット(犬や猫など)を室内で飼っている場合、機器を使用しないときはガス栓を閉める

ペット(犬や猫など)が機器や流し台に飛び乗ろうとしたり、飛びかかった際に誤って器具栓つまみを押してしまうことがあります。

ペットがやけどをしたり、火災のおそれがあります。機器を使用しないときは、ガス栓を閉めてください。



コンロ編

使用中は



必ず守る

- ・コンロ使用中は、身体や衣服が炎に近付かないように注意する

衣服に炎が移って、やけどをするおそれがあります。

また、安心・安全機能がはたらいて炎が自動的に大きくなったり、風で炎があおられて鍋底からあふれ、衣服に移ることがありますので注意してください。



必ず守る

- ・エアコン、扇風機などの風がコンロの炎にあたらないように配慮して使用する

風があたると温度センサーが鍋底の温度を正しく検知できず、炎が途中で消えたり機器損傷の原因になります。

- ・やかんや鍋などの大きさに合わせて火力を調節する

はみ出した炎により、やかんや鍋の取っ手などが過熱され、やけどや取っ手などの焼損の原因になります。

揚げものの調理の際は

警告



禁止

- ・高温炒めモードで揚げものの調理をしない
調理油の温度が高くなり、発火するおそれがあります。



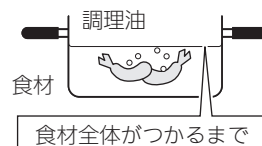
禁止

- ・耐熱ガラス容器や土鍋など、熱が伝わりにくい容器で油料理をしない
調理油過熱防止装置が正常に作動せず、調理油が発火するおそれがあります。



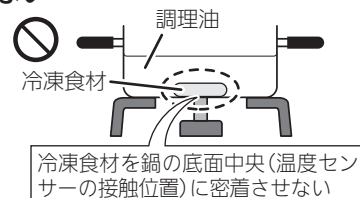
必ず守る

- ・揚げものは食材全体が十分につかるまで調理油(必ず200mL以上)を入れて行う
調理油の量が少なかったり、減ってきたりすると、発火するおそれがあります。
とくに、フライパンなどの底が広い鍋で揚げものをする際は、食材全体が調理油に十分につかっていないと、発火するおそれがあります。



禁止

- ・冷凍食材を鍋の底面中央に密着させた状態で揚げものをしない
鍋の底面中央(温度センサーの接触位置)に冷凍食材が密着した状態で揚げものの調理をすると、温度センサーが鍋底の温度を正しく検知しないため、発火するおそれがあります。
食材は中央部を避けて置いてください。



禁止

- ・複数回使った調理油で揚げものをしない
何回も使用して茶褐色に変色した調理油、にごった調理油、揚げカスなどが沈んだまま残っている調理油は使用しないでください。発火するおそれがあります。



禁止

- ・揚げすぎない
豆腐などの水分の多いものや、衣つきのコロッケなどの破裂しやすいものは、とくに注意してください。揚げすぎると油が飛び散り、発火や、やけどのおそれがあります。

注意



必ず守る

- ・調理油過熱防止装置がはたらいたときは、鍋や油の温度が相当高くなっているため
注意する
やけどやけがの原因になります。

警告



禁止

- ・調理油の廃油凝固剤使用時に油を加熱するときは、絶対に機器から離れない
廃油凝固剤の分量を守り、油の温度が上がりすぎないように注意し、溶けたらすぐに消火してください。廃油凝固剤を入れすぎたり、加熱しすぎると、発火するおそれがあります。

温度センサーは

警告



禁止

- ・温度センサーの改造や取り外しでの使用は行わない
温度センサーが正しくはたらかなくなり、火災の原因となります。

注意



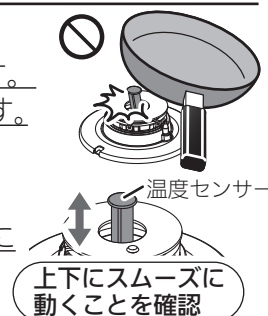
禁止

- ・強いショックを加えたり、キズをつけない
鍋底に温度センサーが密着しなくなり、調理油が発火する場合があります。
また、温度センサーが故障すると安心・安全機能が作動しない場合があります。



必ず守る

- ・こまめにお手入れし、上下にスムーズに動くことを確認する
鍋底に温度センサーが密着しなくなり、調理油が発火する場合があります。
また、動きが悪いと鍋などが傾き、お湯などがこぼれ、やけどの原因にもなります。密着しない場合、点検、修理を依頼してください。



必ずお守りください (安全上の注意)

コンロ編

鍋などについて

警告



禁止

- ・温度センサーの上面と鍋底やフライパンの底などが密着していないときは使用しない
 - ・鍋底やフライパンの底などに異物や著しい汚れ、焦げなどが付着したまま使用しない
- 温度センサーが鍋底やフライパンの底などの温度を正しく検知できずに、発火や途中消火、機器焼損の原因になります。



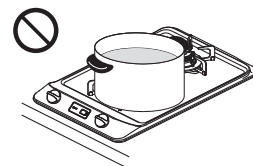
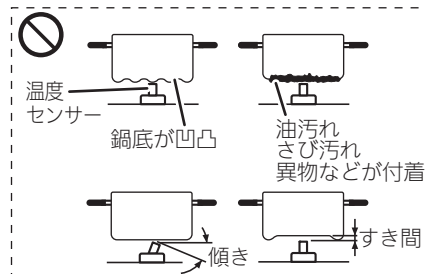
必ず守る

- ・鍋の重さは、調理物を含め300g以上で調理する
- とくに片手鍋は調理物の重さが軽くなると温度センサーの力により、鍋やフライパンなどが押し上げられて傾いたり、ずれ落ちる場合がありますので、取っ手を持って安定した状態で使用してください。



禁止

- ・鍋などが、トッププレートからはみ出した状態では使用しない
- 火災や機器焼損の原因になります。



禁止

- ・石焼きいもつぼなどの空焼きをする調理用具は使用しない
- 異常過熱による機器損傷の原因になります。



禁止

- ・片手鍋、底がへこんだ鍋や丸い鍋、底がすべりやすい鍋、径の小さい鍋などは、不安定な状態で使用しない

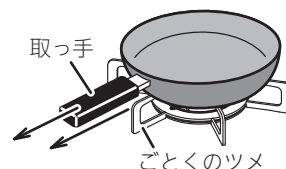


必ず守る

- ・片手鍋などは、調理中に鍋のふたを取ったり、水分の蒸発などにより調理物の重さが軽くなると、温度センサーの力により押し上げられ、傾いたりずれ落ちる場合があるので取っ手を持って使用する

不安定な状態で使用すると、鍋の種類によっては、鍋が傾いたり滑って調理物が体にかかるなどしてやけどの原因になります。

- ・片手鍋やフライパンなど、重心が片寄った鍋は不安定な状態にならないよう、取っ手をごとくのツメ方向に合わせる、取っ手を持って使用する、取っ手などを機器の前面からはみ出さないよう横に向けて置くなど、安定した状態で使用してください。
- ・中華鍋などの底の丸い鍋は、取っ手を持ちながら使用してください。



取っ手とごとくのツメの方向を合わせる



禁止

- ・ごとくを外して鍋などを直接コンロに置いて使用しない
- 不完全燃焼や機器焼損のおそれがあります。



禁止

- ・トッププレートに直接高温の鍋などをのせない
- トッププレートの変色や損傷の原因になります。



必ず守る

- ・陶器製鍋を使用する場合は、長時間の使用は避け、中火以下の火力で使用し、ふつと後は弱火で使用する

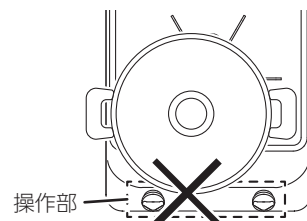
異常過熱による機器損傷の原因になります。



禁止

- ・鍋が操作部にはみ出した状態で使用しない

やけどやトッププレートの変色の原因になります。



注意

コンロ編

トッププレートについて

警告

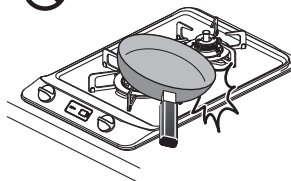


禁止

- ・衝撃や荷重を加えない
- ・上にのらない

トッププレートが変形、破損して、異常過熱や火災の原因になります。

※破損したときは、けがの原因になりますので、程度の大小に関係なく、すぐに修理を依頼してください。



注意



必ず守る

・ゴム足について

- ・ごとくには、特殊ゴムを使用したゴム足を付けており、直接炎を当てないでください。炎に当てると、白く粉状に変形します。
- ・使用していると、特殊ゴムが硬化や変色が起こりますが、異常ではありません。
- ・ゴム足が取れた状態で使用すると、ごとくのガタツキやトッププレートのキズの原因になりますので、ゴムをはめて使用してください。

お手入れ編

お手入れの際は

注意



必ず守る

・機器が十分冷めてから、手袋をして行う

やけどや機器の突起物などでけがをする原因になります。



禁止

・機器や機器周辺(キッチンの天板など)に水をかけたり、水を流しての掃除はしない

機器内部に水が浸入し、点火不良、不完全燃焼、故障の原因になります。



必ず守る

・ぬれぶきんやスポンジたわしを使用する場合はよくしぼり、水分を切ってから使用する

機器内部に水が浸入し、点火不良、不完全燃焼、故障の原因になります。



禁止

・トッププレートは取り外さない

裏面でけがをする原因になります。



必ず守る

・バーナーキャップを水洗いしたあとは、よく水気を切る

水分が残ったまま取り付けると、点火不良や不完全燃焼の原因になります。

必ずお守りください（安全上の注意）

お願い

機器の使用について

- ・使用中もときどき、正常に燃焼していることを確認してください。
- ・ガス栓を閉めて火を消さないでください。
やけどや思わぬ事故の原因になります。
- ・トップレートの上で、IHジャー炊飯器、卓上型IHクッキングヒーターなど電磁誘導加熱の調理機器を使わないでください。
磁力線により、機器が故障する原因になります。
- ・弱火で使用している場合は、機器下のキャビネットとびらをゆっくり開閉してください。
開閉により発生した風で、火が消える場合があります。
- ・トップレートには、安全に関するラベルが貼り付けてあります。
もし、はがれたり、読めなくなった場合は、販売店または、弊社窓口に連絡してください。
貼り替える場合はトップレートの汚れをふき取り、同じ場所に貼り付けてください。

コンロの使用について

- ・弱火のときは炎が見えにくい場合がありますので、消し忘れに注意してください。
- ・調理中に鍋をのせかえるときは、一旦火を消してください。
- ・強火で長時間使用すると土鍋やホーロー鍋など、鍋の種類によっては、ごとくがくっつくことがあります。
長時間使用したあとに、鍋を動かすときは、鍋とごとくがくっついていないことを確認してください。
ごとくがくっついた場合は、すぐに元の位置に戻し、機器が冷めてからくっついたごとくを鍋から外してください。
くっついたまま動かすと、ごとくが落下し、やけど、けが、機器損傷の原因になります。
- ・煮こぼれたときは、その都度お手入れを行ってください。
バーナーに煮こぼれがかかったまま放置すると、炎口がつまり機器内部で燃えることにより、
点火不良や機器焼損の原因になります。機器の内部に煮汁が浸入すると、故障の原因になります。

突沸現象について

- ・みそ汁やカレー、ミートソースなど、とろみのある料理を煮たり温めたりするときは、火力を弱めにし、よくかき混ぜてください。
強火で急に温めると、鍋底に沈んだみそやルーなどが突沸現象により突然噴き上がり、鍋がはねあがってやけどをする原因になります。（とくにだし入り豆みそ（赤みそなど）に注意してください。）

突沸現象とは、突然にふっとうする現象です。

水、牛乳、豆乳、酒、みそ汁、コーヒーなどの液体を温めるときに、ささいなきっかけ（容器をゆする、塩、砂糖などを入れる）で生じます。

この現象が調理中に起きると、鍋がはねあがったり、高温の液体が飛び散るため、やけどやけがをするおそれがあります。これらの予防法として次の点にご注意ください。

- ・カレー、ミートソースなどのとろみのある料理やみそ汁などの汁ものの温めは弱火でかき混ぜながら加熱する。（強火で急に加熱しない。）
- ・熱い汁ものに、塩、砂糖などの調味料を入れる場合は、少し冷ましてから行う。
- ・鍋の大きさにあった火力で加熱する。

設置編

警告



必ず守る



分解禁止

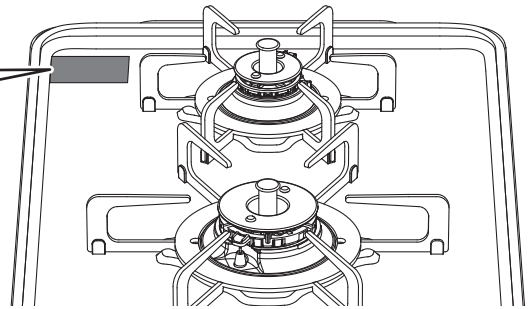
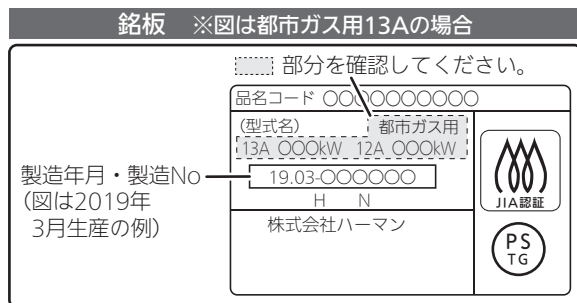
- ・機器の設置、移動、取り外しの際は、販売店または、もよりのガス事業者(供給業者)に依頼するガス配管接続には専門の資格、技術が必要です。
- ・絶対に改造、分解は行わない
改造、分解は、不完全燃焼による一酸化炭素中毒となるおそれがあります。
また、火災の原因になります。

警告



必ず守る

- ・銘板に表示しているガス(ガスグループ)で使用する
- ・転居時は、供給ガスの種類が銘板の表示と一致していることを確認する
表示以外のガスで使用すると、不完全燃焼による一酸化炭素中毒、異常点火や機器が故障する原因になります。
供給ガスがわからない場合は、販売店または、もよりのガス事業者(供給業者)にお問い合わせください。

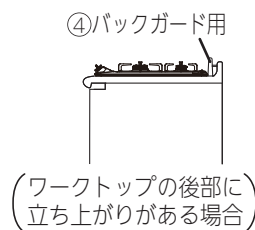
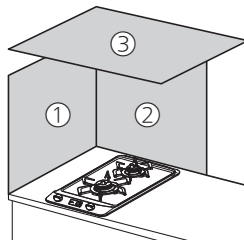
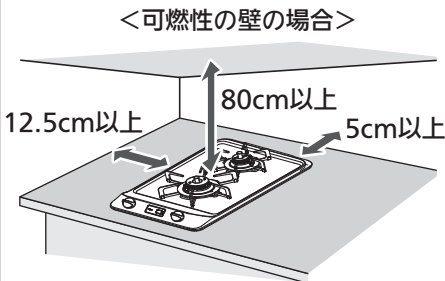


警告



必ず守る

- ・可燃性の部分(棚、壁、家具など)から十分離して設置する
火災予防条例で定められていますので、必ず守ってください。距離が近いと火災の原因になります。
可燃性の壁との離隔距離を下図のように取れない場合は、必ず別売部品の防熱板を取り付けてください。
※表面がステンレスやタイルでも壁の内側がベニヤ板などの場合があります。確認できない場合は、防熱板が必要です。詳しくは、工事説明書を参照してください。
※防熱板のお求めは販売店、防熱板に関するご不明点は弊社窓口にお問い合わせください。



※イラストはイメージ図です。

防熱板

- ① LP0106...側壁用
- ② LP0105...後壁用
- ③ LP0107...天井用
- ④ DP0101...バックガード用



必ず守る

- ・機器周囲の改装をする場合(吊り戸棚を付けるなど)も、可燃物との離隔距離を確実に離す
火災の原因になります。

安心・安全機能／お知らせ機能

安心・安全機能

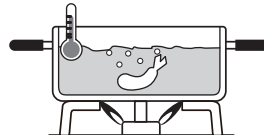
過熱を未然に防止

調理油過熱防止装置

油の温度を約250℃に保つよう、自動で強火と弱火を繰り返し、過熱による発火を防ぎます。自動火力調節している状態が約30分続くと自動で火を消します。また、弱火の状態でも温度が上昇し、約250℃以上になった場合も自動で火を消します。

ただし、後コンロは自動火力調節せず、約250℃になると自動で火を消します。

- ・鍋の種類や油の量によって自動消火時の油の温度は異なります。
- ・高温炒めモード使用時は、この機能ははたらきません。



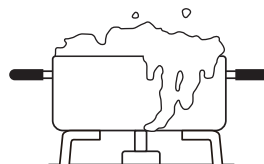
火力調節
します

火を
消します

炎が消えるとガスを自動でストップ

立消え安全装置

煮こぼれや風などで火が消えると、自動でガスを止めます。



ガスを
止めます

万一消し忘れても一定時間で自動消火

消し忘れ消火機能

点火後、約120分(高温で自動火力調節している状態の場合は約30分)で自動で火を消します。

火を
消します

煮ものなどで焦げついた場合、鍋を傷める前に自動消火

焦げつき自動消火機能

煮もの調理などで鍋底が焦げつきはじめたら、自動で火を消します。

- ・鍋の材質、調理物の種類、火力によって焦げの程度は異なります。
- ・弱火から強火に切り替えたときに焦げつき自動消火機能がはたらいて自動消火することがあります。再度点火して使用してください。
- ・高温炒めモード使用時は、この機能ははたらきません。



火を
消します

お知らせ機能

火が消えた際に器具栓つまみを戻し忘れると、ブザー音でお知らせ

器具栓つまみ戻し忘れブザー

安心・安全機能のはたらきにより火が消えたときに、器具栓つまみを戻し忘れると、1分おきにブザー音『ピピッ』(5回)でお知らせします。

戻し忘れたまま放置すると、乾電池の消耗が早くなります。必ず器具栓つまみを「OFF」の位置まで回し、「消火の状態」に戻してください。

※他のバーナーを使用中は、ブザー音が鳴りません。

コンロ使用中であることをブザー音でお知らせ

コンロ使用中お知らせブザー

コンロ点火後、約30分毎にブザー音『ピピピッ』で使用中であることをお知らせします。

乾電池を交換する

乾電池の交換時期が近付くと電池交換サインが点滅し、最初の点火操作時は、ブザー音『ピー』でお知らせします。乾電池の容量がなくなると点火できなくなりますので、新品のアルカリ乾電池(単1形：2個)と交換してください。

⚠ 注意



乾電池は充電、分解、加熱したり、火の中に投入しない

乾電池が破裂し、手や服などを汚すだけでなく、目などに入ると大変危険です。

お願い

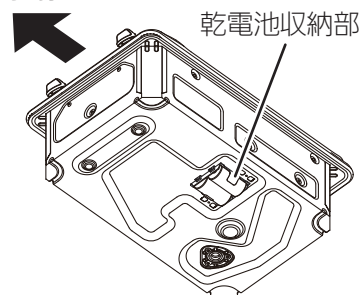
- 乾電池に記載してある注意事項をよく読み、正しく使用してください。
- 乾電池の組み込む方向を間違えないようにしてください。
- 乾電池が正しく組み込まれていなかったり、乾電池の容量がなくなった場合は使用できません。
- 乾電池は必ず2個とも同種類の新品のアルカリ乾電池を使用してください。
アルカリ乾電池(単1形：2個)を使用した場合、乾電池を交換する(電池交換サイン点滅)めやすは約1年です。
(使用状況、乾電池製造メーカーにより使用可能時間が短くなる場合があります。また、新しい乾電池と古い乾電池の組み合わせや、種類の違う乾電池を混ぜて使用した場合や、マンガン乾電池を使用した場合は、使用可能時間が短くなります。)
- 未使用の乾電池でも「使用推奨期限(月、年)」を過ぎている場合は、自然放電により短時間で電池交換サインが点滅する場合があります。また、付属のお試し用乾電池は、動作確認用のため、新品のアルカリ乾電池と比較して寿命が短くなります。交換するときは、アルカリ乾電池(単1形：2個)を入れてください。
- 乾電池収納部に水や異物が入った場合、ふき取ってきれいにしてください。電池機能不良の原因となります。
- 単2形、単3形乾電池を単1形サイズにする電池スペーサーや充電式単1形乾電池は、使用できない場合があります。また、使用できた場合でも使用可能時間が極端に短くなります。

① 機器が冷めていることを確認する

② キャビネットとびらを開ける

※乾電池収納部は、機器本体底部の右側にあります。

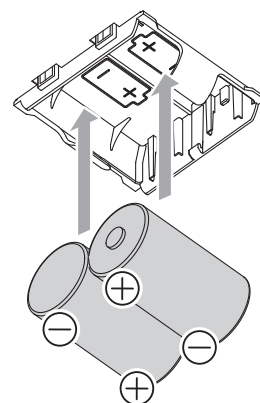
機器手前



③ 乾電池を交換する

- アルカリ乾電池(単1形：2個)の⊕ ⊖を確かめ、乾電池を交換してください。

※乾電池の組み込む方向を間違えないようにしてください。
発熱や液漏れの原因になります。



④ キャビネットとびらを閉める

コンロを使う準備

調理に適した鍋

鍋などの種類	煮ものなど	炒めもの 揚げものなど (揚げもの時の 油の量：200mL以上)
アルミ製の鍋、文化鍋 	○	○
ホーロー鍋、 ステンレス製の鍋(厚手) (鍋底厚み2mm以上) 	○	○
ステンレス製の鍋(薄手) (鍋底厚み2mm未満) 	○※1	×
ステンレス製の無水鍋、 ステンレス製の多層鍋 	○※2	○
鉄製の鍋、 中華鍋、 フライパン 	○	○
土鍋、 圧力鍋、 耐熱ガラス容器 	○※2	×
やかん 	—	—

○：適しています。 ×：適していません。(温度を正しく検知しない場合があります。)

※1：焦げつきがきつくなります。

※2：途中消火したり、焦げつく場合があります。

前コンロは高温炒めモード(19ページ)にすると途中消火せず使用できます。

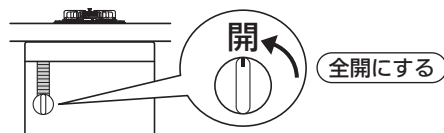
ただし、焦げつき自動消火機能がはたらかないため注意してください。

中華鍋を使うときのお願い

- ・底の平らな鍋を使用してください。
- ・鍋底と温度センサーが密着していることを確かめてから使用してください。
- ・中華鍋の種類によっては、鍋が安定せず、温度センサーが正しくはたらかません。
- ・必ず取っ手を持って調理してください。

①ガス栓を全開にする

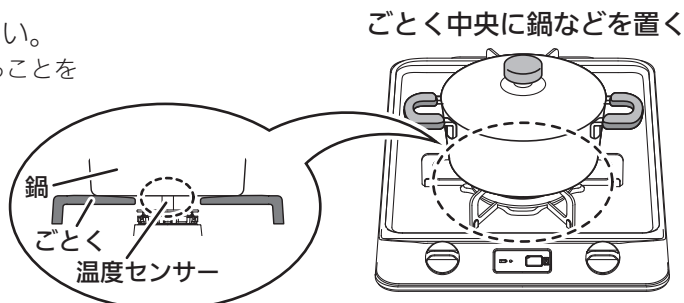
- ガス栓を『開』の状態にしてください。



②鍋などを置く

- ごとの中央に鍋などを置いてください。

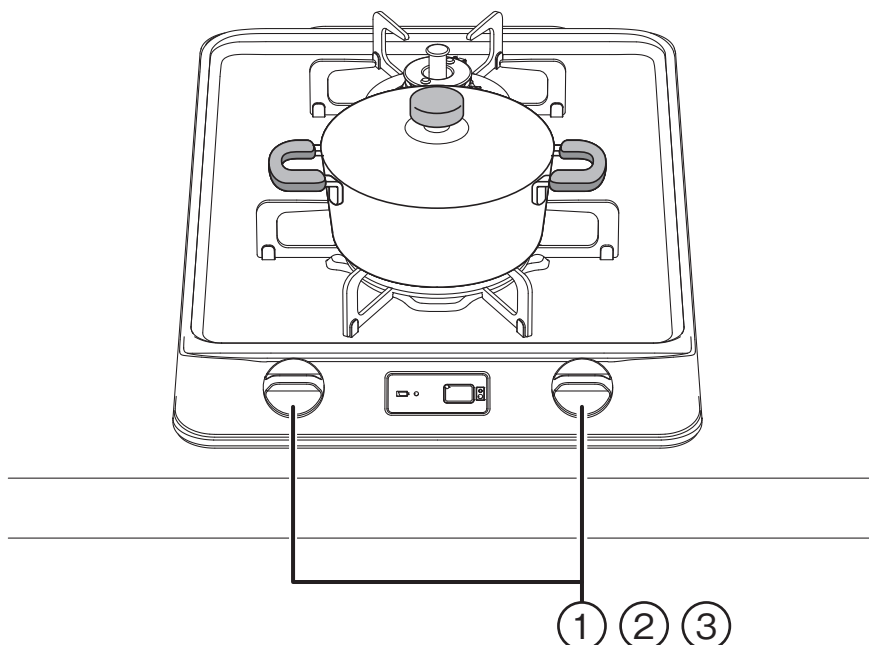
※点火前に温度センサーが鍋底に密着していることを確認してください。



コンロの使いかた（基本操作）

➡ 『コンロを使う準備』（16ページ）
をよく読み、準備をする

ごとく中央に鍋などを置く



ポイント

- ・炒めもの（野菜炒めなど）、焼きもの（目玉焼き、ハンバーグなど）をする場合は、1分程度予熱する。
※予熱時間が長すぎたり短すぎたりすると、安心・安全機能がはたらき、弱火になったり消火する場合があります。（自動火力調節で弱火になっている場合は、火力を強くしても受け付けません。）
- ・直火調理（あぶりもの）、いりもの、炒めもの（鍋をひんぱんに上げる料理）は、高温炒めモードで調理する。
（19ページ）
※高温炒めモードを使わずに、水分が蒸発しても加熱を続ける料理をした場合、焦げつき自動消火機能がはたらき、消火することがあります。

1分程度予熱



ご注意ください

- ・鍋などをごとくにのせた状態で、激しく動かさないでください。
トッププレートに爪がつくおそれがあります。

お願い

- ・みそ汁やカレー、ミートソースなど、とろみのある料理を煮たり温めたりするときは、火力を弱めにし、よくかき混ぜてください。
強火で急に温めると、鍋底に沈んだみそやルーなどが突沸現象により突然噴き上がり、鍋がはねあがってやけどをするおそれがあります。（とくに、だし入り豆みそ（赤みそなど）のときは注意してください。）
※突沸現象については、11ページを参照してください。

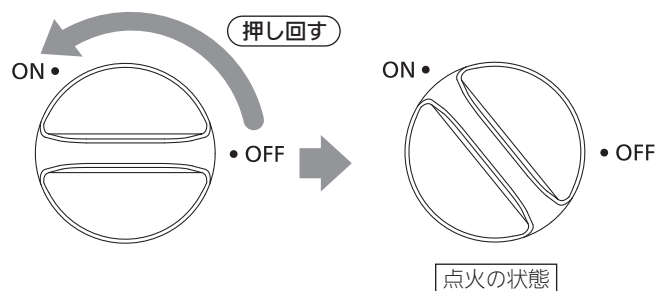
お知らせ

- ・約120分（高温で自動火力調節している状態の場合は約30分）連続使用すると、消し忘れ消火機能がはたらき自動消火します。（13ページ）
- ・点火後、約30分毎にブザー音『ピピピッ』で使用中であることをお知らせします。（14ページ）
- ・自動消火や安心・安全機能により火が消えた際に器具栓つまみを戻し忘れると、1分おきにブザー音『ピピッ』（5回）でお知らせします。（14ページ）

① 点火する

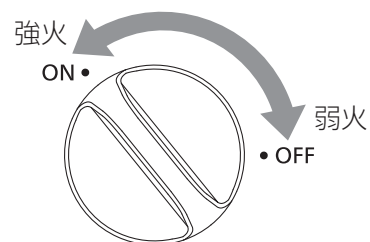
- 器具栓つまみを「ON」の位置まで押し回し、「点火の状態」にしてください。

※必ず火がついたことを確認してください。



② 火力調節する

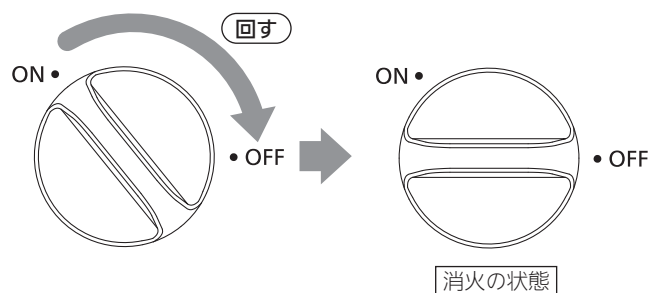
- 器具栓つまみをゆっくりと回し、炎があふれない程度に調節してください。



③ 消火する

- 器具栓つまみを「OFF」の位置まで回し、「消火の状態」にしてください。

※必ず火が消えたことを確認してください。

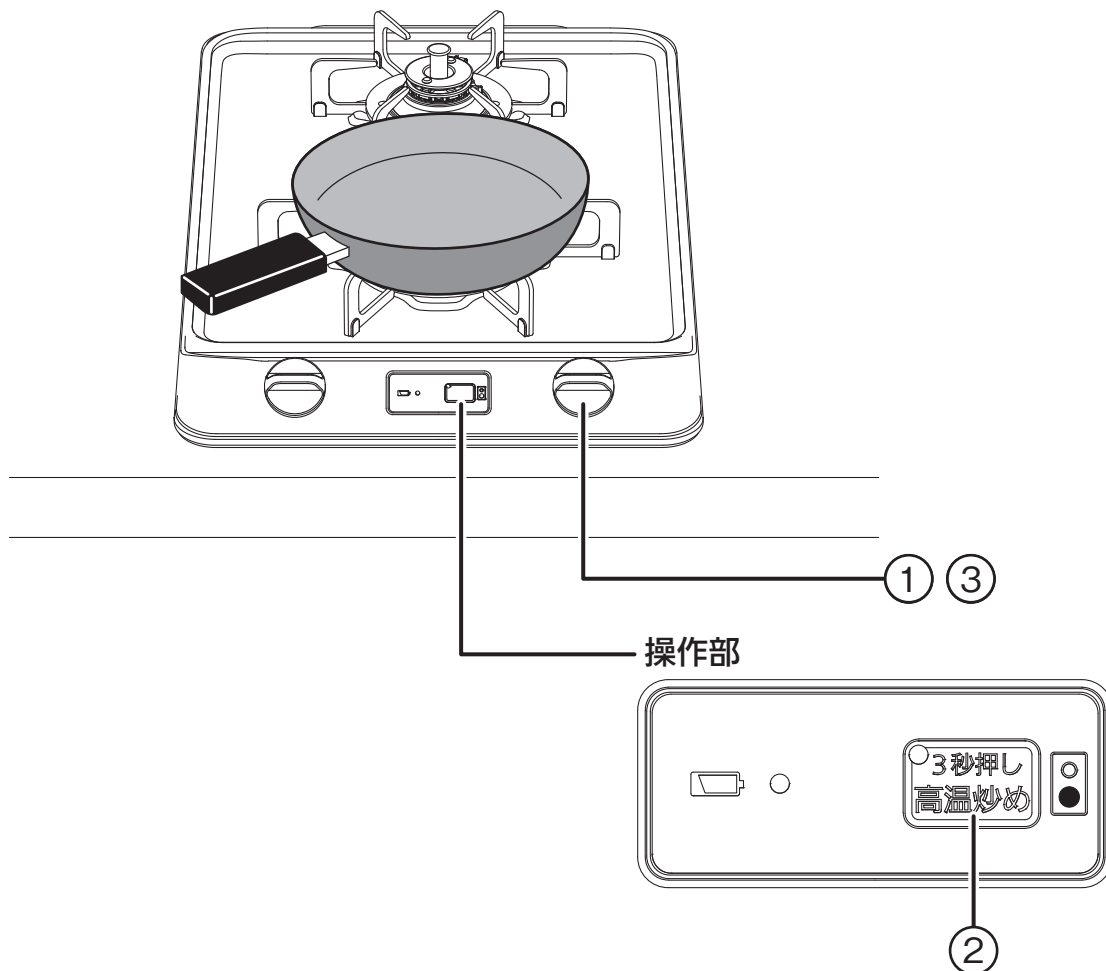


高温炒めモード (前コンロ)

直火調理(あぶりもの)、いりもの、炒めもの(鍋をひんぱんに上げる料理)などで、急に火が小さくなったり、消えてしまう場合に、通常より高い温度で調理できるモードです。ただし、温度が高くなりすぎると安全のため、火力を調節したり、自動で火を消します。
※高温炒めモードを使用すると、調理油過熱防止装置、焦げつき自動消火機能は作動しません。

➡『コンロを使う準備』(16ページ)
をよく読み、準備をする

ごとく中央にフライパンなどを置く



⚠ 警告



高温炒めモードを使用するときは、揚げものなどの調理はしない
調理油過熱防止装置が作動せず、調理油が発火し、火災の原因になります。

禁 止

⚠ 注意



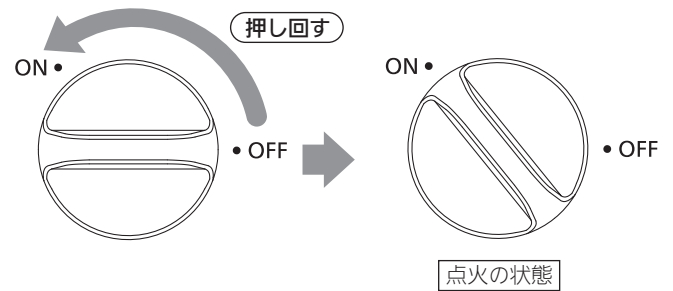
直火調理(あぶりもの)をする場合は、温度センサーの真上を避ける
温度センサー上に焼き汁などが滴下しないよう、温度センサーの真上は避けて調理してください。
温度センサーが汚れると、鍋底の温度を正しく検知できず、発火や途中消火、機器焼損の原因になります。
また、焼き汁の滴下量や位置により、温度センサーの故障の原因になります。

お知らせ

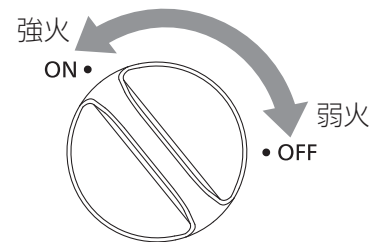
- ・高温炒めモードは安全のため、約60分(高温で自動火力調節している状態の場合は約30分)連続使用すると、消し忘れ消火機能がはたらき自動消火します。
使用中に高温炒めモードを解除して、続けて使用する場合、はじめに点火してから約120分(高温で自動火力調節している状態の場合は約30分)経過すると消し忘れ消火機能がはたらき、自動消火します。
- ・自動消火や安心・安全機能により火が消えた際に器具栓つまみを戻し忘れると、1分おきにブザー音『ピピッ』(5回)でお知らせします。(14ページ)

① 点火し、火力調節する

- 器具栓つまみを「ON」の位置まで押し回し、「点火の状態」にしてください。
※必ず火がついたことを確認してください。

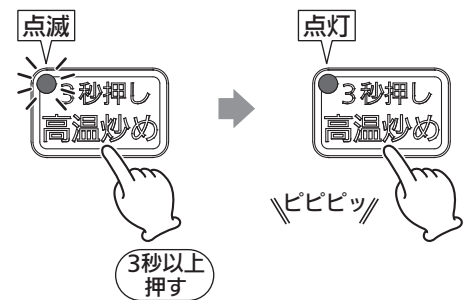


- 器具栓つまみをゆっくりと回し、炎があふれない程度に調節してください。



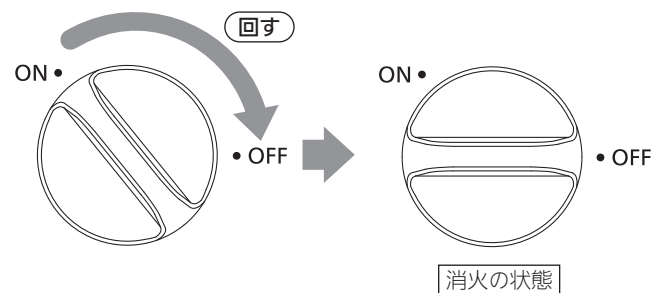
② 高温炒めを設定する

- 高温炒めボタンを**3秒以上**押してください。
※押している間は点滅します。
※設定を取り消すときは、高温炒めボタンを押してください。
※設定を取り消しても消火しません。



③ 消火する

- 器具栓つまみを「OFF」の位置まで回し、「消火の状態」にしてください。
※必ず火が消えたことを確認してください。



日常点検とお手入れ

- ・ 日常の点検とお手入れは必ず行ってください。
- ・ 煮こぼれや誤って鍋をひっくり返すなど、機器内に多量の煮汁などが入った場合は、機器の故障や寿命が短くなるおそれがありますので、弊社窓口にお問い合わせください。

日常点検について

機器のまわりに
可燃物などはありませんか？

機器のまわりに可燃物がないようにしてください。(6ページ)

各部品は正しく取り付け
されていますか？

バーナーキャップ、ごとくなど正しく取り付けた状態でお使い
ください。(25～26ページ)

汚れていませんか？

煮こぼれなどで機器が汚れているときはお手入れしてください。
温度センサーを押し、スムーズに上下に動くか確認してください。
汚れていると動きが悪くなり、温度センサーが正しくはたらか
ない場合があります。(26ページ)
スムーズに動かない場合は、必ず点検・修理を依頼してください。

⚠注意



必ず守る

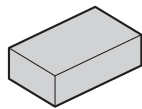
- ・ お手入れは、ガス栓を閉め、機器が冷めてから手袋をはめて行う
やけどや機器の突起物などでけがをする原因になります。
- ・ お手入れ後は、機器にふきん、紙類などを置き忘れていないか必ず確認する
火災の原因になります。

お願い

- ・ 道具や洗剤を目立たない部分で試してから、使用してください。
- ・ 食器洗い乾燥機で洗う場合、専用洗剤・食器洗い乾燥機の取扱説明書をよく読んで、使用してください。
また、煮洗いや食器洗い乾燥機で洗う場合などは、変色したり、ツヤがなくなる場合があります。
- ・ 汚れたままにすると汚れがこびり付き、取れにくくなりますので、使用の都度お手入れしてください。
煮こぼれをしたまま放置するとお手入れする部品が固着し、外れにくくなったり、故障の原因になります。
※とくに砂糖などを含んだ濃い汁は、すぐにふき取ってください。焼きついて掃除が困難になります。
- ・ バーナーキャップ、ごとくは取り外して洗うことができます。それ以外の部品は、絶対に取り外さないでください。

お手入れ道具、洗剤について

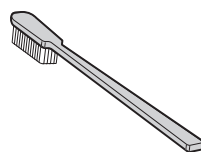
適しているもの



やわらかいスポンジたわし



やわらかい布

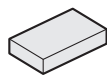


やわらかい歯ブラシ



台所用中性洗剤

⊘ 適していないもの



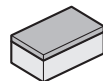
ナイロンたわし



亀の子たわし



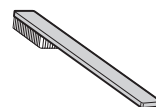
金属たわし



スポンジたわしの硬い面



メラミンスポンジ



硬いブラシ



みがき粉



クレンザー



歯みがき粉



クリーム
クレンザー



漂白剤、
酸性洗剤、
アルカリ性洗剤



弱酸性洗剤、
弱アルカリ性洗剤



シンナー、
ベンジン、
アルコール



重曹

・表面のキズや、表面が変質し、はがれ、変色、さび、割れの原因になります。

直接かけて使用しない

スプレー式洗剤



- ・直接かけて使用すると機器内部に洗剤が入り、故障の原因になります。必ずやわらかい布やスポンジたわしなどに含ませてから使用してください。

絶対に使用しない

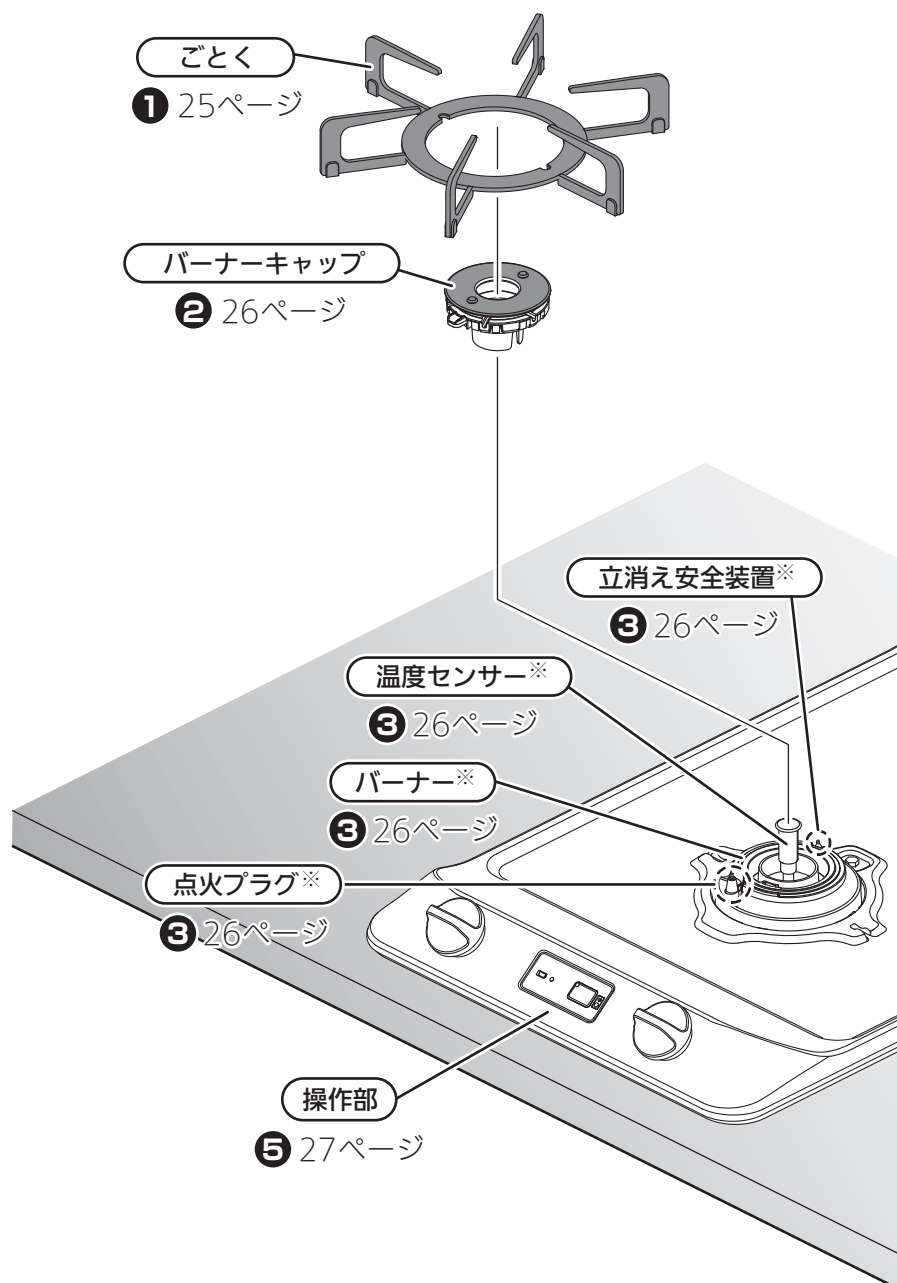
可燃性スプレー、浸透液、潤滑剤



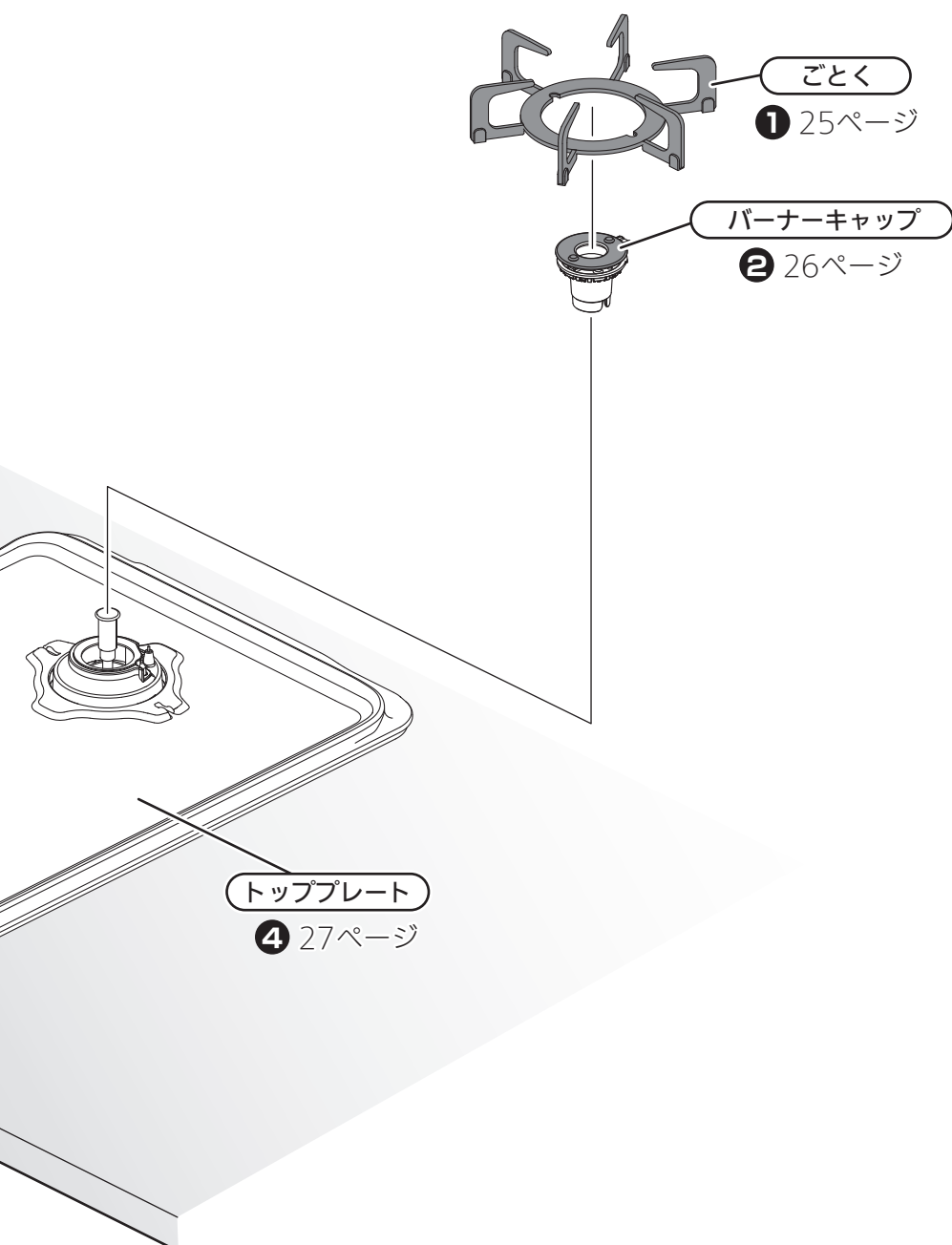
- ・引火して火災の原因になります。

◎マークの説明 (例) **ごとく** : 部品の名称

① 25ページ : 取り外しかた、お手入れ方法、取り付けかたの参照番号と参照ページ



- ◎お手入れの前には、
 - ・機器が冷めていることを確認する
 - ・ガス栓を閉める
 - ・手袋をする
- ◎汚れたら、その都度きれいにお手入れする
- ◎お手入れをしたあとは、洗剤や水分が残らないようにする
- ◎部品を取り付けたあとは、浮き(傾き)がないことを確認する



お知らせ

- ・ごとく、バーナーキャップなどは消耗部品です。
交換部品(有料)として準備しております。(37ページ)
販売店または、弊社窓口にお問い合わせください。

お手入れ

取り外しかた、お手入れ方法、取り付けかた

1

ごとく

取り外しかた

- ・ごとくを真っ直ぐ上に持ち上げて、取り外してください。

お手入れ方法

- ・台所用中性洗剤を含ませた布やスポンジで汚れをふき取ったあと、洗剤が残らないように水ぶきし、水分が残らないように乾いた布でふき取ってください。
- ※汚れがついたまま使用すると、汚れが落ちにくくなります。

取れにくい汚れのときは・・・

- ・台所用中性洗剤で丸洗いしたあと、洗剤が残らないように水洗いし、水分が残らないように乾いた布でふき取ってください。

それでも汚れが取れないとき！

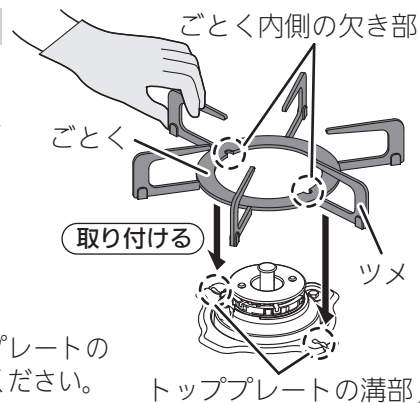
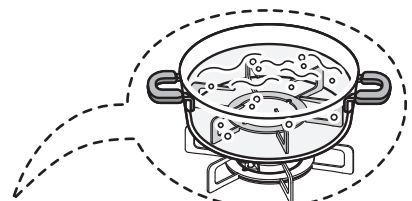
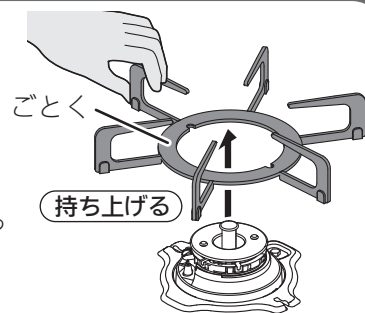
- ・煮沸するとさらに汚れが取れやすくなります。
- 水を入れた大きめの鍋で約30分加熱し、冷ましてから取り出し、水洗いして水気をふき取ってください。
- ※表面が変色することがありますが、使用上問題ありません。ごとく以外は、煮沸いしないでください。

ゴム足について

- ・ごとくのゴム足に煮汁や調味料が付着しても問題ありませんが、こまめに掃除してください。
- ・ゴム足とごとくのすき間に汚れがたまった場合は、中性洗剤と歯ブラシなどでお手入れしてください。
- ・ゴム足は、ごとくにはめ込まれているため、無理に引っ張ったり押ししたりすると、外れたり破れたりするので注意してください。
- ・お手入れ後、ごとくのゴム足が外れていないか確認してください。
- 外れるとごとくのガタツキやトッププレートのキズの原因になります。

取り付けかた

- ・ごとく内側の欠き部(左右2カ所)があるツメを、トッププレートの溝部(左右2カ所)に入れて、浮きがないように取り付けてください。



⚠注意



必ず守る

温度センサーは、こまめにお手入れし、上下にスムーズに動くことを確認する

鍋底に温度センサーが密着しなくなり、調理油が発火する場合があります。

また、動きが悪いと鍋などが傾き、お湯などがこぼれ、やけどの原因にもなります。

密着しない場合、点検、修理を依頼してください。



必ず守る

ごとくに付けてあるゴム足が外れていないか確認する

ゴム足が外れていると、トッププレートのキズやごとくのガタツキの原因になります。



必ず守る

バーナーキャップは正しく取り付ける

誤った取り付けかた(浮き、裏返しなど)で使用する、

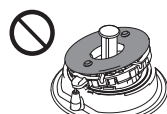
- ・点火しない場合があります。
- ・炎のふぞろいや逆火で不完全燃焼、一酸化炭素中毒のおそれや変形の原因になります。
- ・機器の中に炎がもぐりこんで、焼損する原因になります。
- ・機器寿命が短くなるおそれがあります。



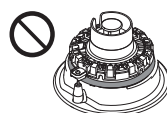
必ず守る

ごとくは正しく取り付ける

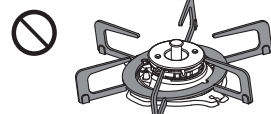
誤った取り付けかた(浮き、裏返し、ズレなど)で使用する、鍋などが不安定になり、傾いたり、倒れたりし、やけど、点火不良、不完全燃焼、変形の原因になります。また、取り付けの際に衝撃を加えると、トッププレートにキズがつく原因になります。



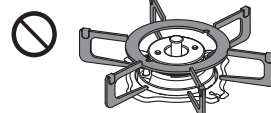
バーナーキャップの浮き



バーナーキャップの裏返し



ごとくの浮き



ごとくの裏返し

- ◎お手入れの前には、
 - ・機器が冷めていることを確認する
 - ・ガス栓を閉める
 - ・手袋をする
- ◎汚れたら、その都度きれいにお手入れする
- ◎お手入れをしたあとは、洗剤や水分が残らないようにする
- ◎部品を取り付けたあとは、浮き(傾き)がないことを確認する

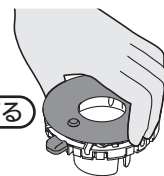
2

バーナーキャップ

取り外しかた

- ・バーナーキャップを真っ直ぐ上に持ち上げて、取り外してください。

持ち上げる



お手入れ方法

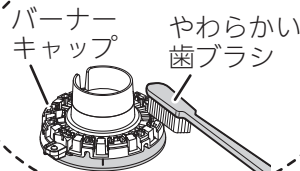
- ・台所用中性洗剤を含ませた布やスポンジで汚れをふき取ったあと、洗剤が残らないように水びきし、水分が残らないように乾いた布でふき取ってください。
- ※水分が残ったまま取り付けると、点火不良や不完全燃焼の原因になります。

取れにくい汚れのときは・・・

- ・台所用中性洗剤で丸洗いしたあと、洗剤が残らないように水洗いし、水分が残らないように乾いた布でふき取ってください。

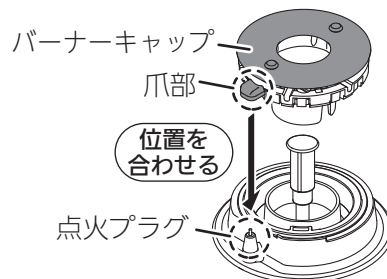
目づまりしたときは

- ・凹部や溝部は、やわらかい歯ブラシなどでお手入れしてください。
- こびり付いた汚れは、つまようじなどで取り除いてください。
- ※目づまりや汚れは、点火不良や不完全燃焼の原因になります。



取り付けかた

- ・バーナーキャップの爪部が、点火プラグの真上にくるように合わせ、浮きがないように取り付けてください。(点火プラグに衝撃をあたえないようにしてください。)



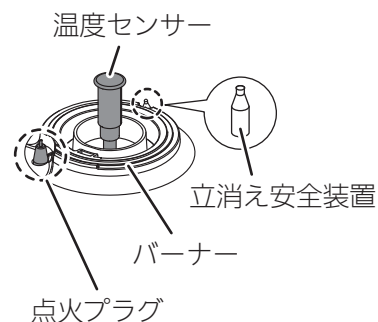
3

バーナー、点火プラグ、立消え安全装置、温度センサー

※バーナー、点火プラグ、立消え安全装置、温度センサーは取り外せません。

お手入れ方法

- ・水を含ませて、かたくしぼった布で煮こぼれなどの汚れをふき取ったあと、水分が残らないように乾いた布で再度ふき取ってください。
- ※温度センサーをお手入れするときは、温度センサーが曲がらないように、片手を添えてください。
- ※洗剤などは使用しないでください。
- ※点火プラグ、立消え安全装置、温度センサーはキズつけたり、衝撃をあたえないようにしてください。位置が変わったり、傾くと安心・安全機能が正しくはたらかないおそれがあります。
- ※点火プラグ、立消え安全装置の汚れは、点火不良や不完全燃焼の原因になります。



お手入れ

取り外しかた、お手入れ方法、取り付けかた

- ◎お手入れの前には、
 - ・機器が冷めていることを確認する
 - ・ガス栓を閉める
 - ・手袋をする
- ◎汚れたら、その都度きれいにお手入れする
- ◎お手入れをしたあとは、洗剤や水分が残らないようにする
- ◎部品を取り付けたあとは、浮き(傾き)がないことを確認する

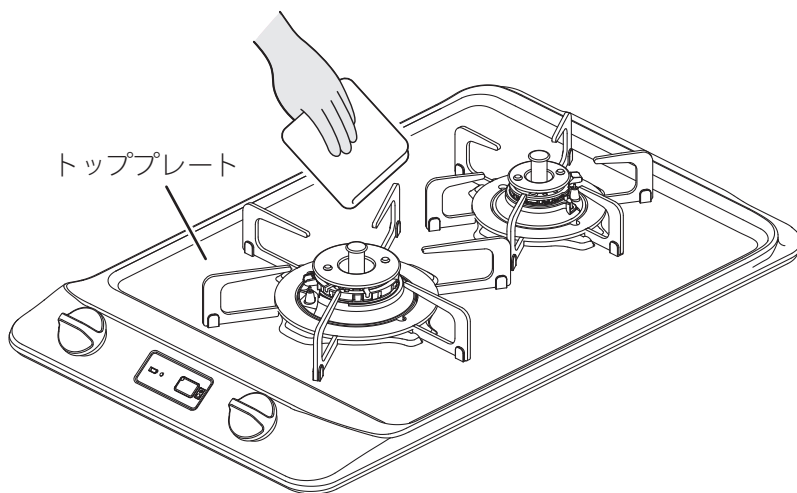
4

トッププレート

※トッププレートは取り外せません。

お手入れ方法

- ・水を含ませたスポンジ、布などのやわらかい物でふき取り、水分が残らないように乾いた布でふき取ってください。または、台所用中性洗剤を含ませたスポンジ、布などのやわらかい物でふき取り、洗剤が残らないように水ぶきしてください。
- ※表面についた煮こぼれなどの汚れをそのままにしておくと、こびりついて取れにくくなり、シミが残ることがあります。使用のたびにこまめにふき取ってください。
とくに砂糖などを含んだ濃い汁は、すぐにふき取ってください。
焼きついて掃除が困難になります。



お願い

トッププレートには、安全に関するラベルが貼り付けてあります。もし、はがれたり、読めなくなった場合は、販売店または、弊社窓口にご連絡してください。
貼り替える場合は、トッププレートの汚れをふき取り、同じ場所に貼り付けてください。

5

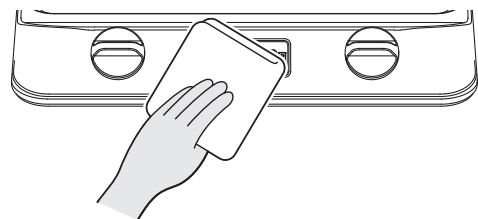
操作部

お手入れ方法

- ・乾いた布でよくふいてください。
- ※器具栓つまみのお手入れの際は、誤って点火しないように注意してください。

取れにくい汚れのときは・・・

- ・台所用中性洗剤を含ませた布で汚れをふき取ったあと、洗剤が残らないように水ぶきし、水分が残らないように乾いた布でふき取ってください。



お願い

器具栓つまみは取り外さないでください。
無理に取り外すと、器具栓つまみの変形や破損につながり、機器の故障の原因になります。

よくあるご質問

とくに多いご質問です

ご 質 問	回 答	参照 ページ
・ 使用していないのにブザー音がする	お知らせ機能がはたらいっているためです。 自動消火した場合、器具栓つまみを戻し忘れると、1分おきにブザー音『ピピッ』(5回)でお知らせします。 <u>戻し忘れたまま放置すると、乾電池の消耗が早くなります。</u>必ず器具栓つまみを「OFF」の位置まで回し、「消火の状態」に戻してください。 ※他のバーナーを使用中は、ブザー音は鳴りません。	14
・ 勝手に火が小さくなったり、火が消えたりする	安心・安全機能がはたらいっているためです。 自動的に火力を弱火に調節したり、自動消火し、高温になり過ぎることを防止します。 また、高温炒めボタンを押すと、通常時より高温での調理ができますが、異常過熱を防止するために温度センサーの温度が上がりすぎたり、約60分(高温で自動火力調節している状態の場合は約30分)連続使用すると、消し忘れ消火機能がはたらき自動消火します。 ※自動火力調節で弱火になっている場合は、火力を強くしても受け付けません。	13・19
・ 電池交換サインが点滅している	乾電池が消耗しているためです。 新品のアルカリ乾電池(単1形：2個)と交換してください。 乾電池を交換する(電池交換サイン点滅)めやすは約1年です。(付属の乾電池は、お試し用のため、新品のアルカリ乾電池と比較して寿命が短くなります。)	15

よくあるご質問

ご 質 問	詳細の 番号	回 答	参照 ページ
点火すると他のバーナーも、スパーク(パチパチ)する	—	1カ所の点火操作ですべてのバーナーがスパークします。異常ではありません。	—
点火しない ご質問の詳細 ① 点火しない ② 点火にくい ③ スパーク(パチパチ)しない ④ 点火してもすぐ消える	—	乾電池が消耗しています。新しいアルカリ乾電池(単1形：2個)に交換してください。	15
	①② ③④	煮こぼれなどによりバーナーの炎口がつまっていたり、点火プラグ、立消え安全装置、バーナーキャップがぬれたり、汚れたりしていると、点火しない場合があります。お手入れしてください。	26
	③④	バーナーキャップが傾いたり、浮いたりしていないか確認し、正しく取り付けてください。	25
	—	器具栓つまみを「ON」の位置まで押し回し、「点火の状態」にしてください。	18
	—	アルミはく製する受けは使用できません。使用しないでください。	6
炎の状態がおかしい ご質問の詳細 ① 炎が安定しない ② 炎が黄色い、赤い ③ 異常音をたてて燃える、消える ④ 炎が均一でない ⑤ 使用中炎が消える ⑥ 鍋にすすがつく	—	ガス栓を閉めていると点火できません。ガス栓を全開にしてください。	16
	①②	LPガスを使用の場合で、LPガスがなくなりかけるときは、使用のLP事業者にお問い合わせください。 長期間使用していなかったり、朝一番など、ガス配管に空気が残っている場合がありますので、点火操作を繰り返してください。	—
	④	温度センサーが高温になり、安心・安全機能がはたっています。温度センサーの温度が下がるまで、点火してもすぐ消火します。しばらく待ってから、再度点火してください。	—
	①② ③④ ⑤⑥	煮こぼれなどによりバーナーの炎口がつまっていたり、点火プラグ、立消え安全装置、バーナーキャップがぬれたり、汚れたりしていると、正常に燃焼しない場合があります。お手入れしてください。	26
	⑤⑥	バーナーキャップが傾いたり、浮いたりしていないか確認し、正しく取り付けてください。	25
①② ③④ ⑤	①② ③④ ⑤	風が吹き込んだり、エアコンや扇風機などの風がコンロの炎に当たらないように配慮して使用してください。	7
	②④ ⑤⑥	アルミはく製する受けは使用できません。使用しないでください。	6
	①④	バーナーの炎が一部短くなっています。異常ではありません。	—

次の現象に当てはまらないとき、また処置をしてもなお異常があるときは、販売店または弊社窓口に連絡してください。

ご 質 問	詳細の 番号	回 答	参照 ページ
炎の状態がおかしい(続き) ご質問の詳細 ① 炎が安定しない ② 炎が黄色い、赤い ③ 異常音をたてて燃える、消える ④ 炎が均一でない ⑤ 使用中炎が消える ⑥ 鍋にすすがつく	②⑤ ② ⑤	使用中は換気してください。 器具栓つまみをはやく操作すると、炎が赤くなったり、消火する場合があります。異常ではありません。ゆっくり操作してください。 加湿器を使用すると水分に含まれるカルシウムが燃えて炎が赤くなることがあります。異常ではありません。 火力調節時に一瞬炎が黄色くなったり大きくなる場合があります。異常ではありません。 弱火の状態、機器下のキャビネットとびらをはやく開閉すると、消火する場合がありますのでゆっくり開閉してください。	7 — 11
すぐに消火しない	—	バーナー内部に残ったガスが燃焼しているためです。異常ではありません。	—
強火になったとき、一瞬炎が大きくなる	—	バーナー内のガスが一度に出されるためです。異常ではありません。	—
部品が変色する ご質問の詳細 ① 表面が変色する ② ごとくが変色する	①② ②	酸性やアルカリ性洗剤は使用しないでください。中性洗剤以外の洗剤を使用されると、変色する場合があります。 ごとく先端は、炎が当たり、変色したり、ざらざらになります。異常ではありません。ごとくなどは消耗部品です。交換部品として販売しています。 煮洗いや食器洗い乾燥機で洗う場合などは、変色したり、ツヤがなくなる場合がありますが、使用上問題ありません。	22 37 21・25
トッププレートが熱くなる	—	1カ所のみコンロを使用している場合でも、使用していないコンロ側のトッププレートも熱伝導で熱くなる場合があります。使用中や使用直後はトッププレートに触らないよう注意してください。	7

よくあるご質問

次の現象に当てはまらないとき、また処置をしてもなお異常があるときは、販売店または弊社窓口にご連絡してください。

ご質問	詳細の番号	回答	参照ページ
市販の焼網が使えない	—	大きななすやパプリカなどは、フォークや金串に刺し高温炒めモードを使用し、コンロ上で直火調理（あぶりもの）してください。（前コンロ）	19
コンロ使用時に… ご質問の詳細 ① 調理中に消火する ② 油が高温になっていても自動消火しない ③ 点火してもすぐ消える ④ 自動で火力が変わる ⑤ 鍋底の焦げつきがきつい	①②	鍋の形状や材質が適しているか確認してください。	16
	③④	鍋底が温度センサーと密着していることを確認してください。	9
	⑤	鍋底や温度センサーが汚れていないか確認し、汚れている場合はお手入れしてください。	26
	①③	温度センサーが高温になり、安心・安全機能がはたらいしています。温度センサーの温度が下がるまで点火してもすぐ消火します。しばらく待ってから再度点火してください。	13
	①⑤	焦げつき自動消火機能は、鍋の材質や調理により焦げつきの程度が変わります。カレー、シチュー、カラメル、みそなどの水分が少ない料理は焦げやすくなります。弱火でときどきかき混ぜながら調理してください。	13・16
		鍋底が焦げついていないか確認してください。焦げつきや空だきの場合、焦げつき自動消火機能がはたらいで、自動的に消火します。	
	①	点火後約120分（高温で自動的に火力調節している場合は約30分）で自動消火し、消し忘れを防ぎます。	11
		弱火の状態、機器下のキャビネットとびらをはやく開閉すると、消火する場合がありますのでゆっくり開閉してください。	
		冷凍した調理物をそのまま調理した場合、調理中に消火することがありますので、解凍してから調理してください。	
		無水鍋や多層鍋、土鍋や耐熱ガラス容器、圧力鍋を使用すると、まれに焦げつき自動消火機能がはたらき、調理中に消火することがあります。	
	③	後コンロは、鍋を置かずに点火した場合、コンロの炎で温度センサーが高温になり、安心・安全機能がはたらいで、自動的に消火します。鍋を置いて再度点火してください。	13
	④	鍋の温度が高温になると、過熱防止のため自動的に火力を切り替えます。弱火と強火を繰り返し、この状態が約30分続くと自動消火します。弱火になると支障のある調理の場合は、高温炒めボタンを押すと、高温での調理ができます。	13・19
	⑤	鍋底にこんぶや竹皮などを敷くと焦げつきがきつくなる場合があります。ときどきかき混ぜて火加減し、様子を見ながら調理してください。	—

次の現象に当てはまらないとき、また処置をしてもなお異常があるときは、販売店または弊社窓口にご連絡ください。

ご質問		詳細の 番号	回答	参照 ページ
乾電池	使用時に『ピー』というブザー音とともに、電池交換サインが点滅する	—	乾電池が消耗しているためです。乾電池を交換してください。 乾電池を交換する（電池交換サイン点滅）めやすは約1年です。（付属の乾電池は、お試し用のため、新品のアルカリ乾電池と比較して寿命が短くなります。） ※乾電池収納部は機器本体底部に取り付けてあります。	15
	乾電池を交換しても電池交換サインが点滅する	—	乾電池に記載されている使用推奨期限を確認してください。 未使用の乾電池でも、古くなった乾電池は消耗しますので、新しいアルカリ乾電池（単1形:2個）に交換してください。	15
におい	使用中、においがする	①	すぐに使用をやめ、ガス栓を閉めてから販売店または、弊社窓口にご連絡ください。	5
	ご質問の詳細		風が吹き込んだり、エアコンや扇風機などの風がコンロの炎に当たらないように配慮して使用してください。	7
	① ガスのにおいがする	②	バーナーキャップなどに煮こぼれや水滴がついていないか確認し、お手入れしてください。また、お手入れしたあとは、洗剤や水分が残らないようにしてください。	26
	② いやなにおいがする		周囲に燃えやすいものやプラスチック製品などがないか確認してください。	6
音	使用中、消火後に音がする	①	器具栓つまみを戻し忘れていないか確認してください。 器具栓つまみを戻し忘れると、1分おきにブザー音『ピピッ』（5回）でお知らせします。 ※安心・安全機能のはたらきにより火が消えたときは、必ず器具栓つまみを「OFF」の位置まで回し、「消火の状態」に戻してください。 戻し忘れたまま放置すると、乾電池の消耗が早くなります。 ※他のバーナーを使用中は、ブザー音は鳴りません。	14
	ご質問の詳細		コンロバーナー使用後の火が消えたときの音です。 異常ではありません。	—
	① 消火後に「ピピッ」（5回）とブザー音がする	②	バーナーキャップが正しく取り付けされていないと、音がする場合があります。	25・26
	② 「ポン」と音がする	③	火力を切り替える動作音です。異常ではありません。	—
	③ 「カチッ」と音がする	④	点火後や消火後にキシミ音がでますが、加熱や冷却されるときに、金属が膨張収縮して起こる音です。 異常ではありません。	
	④ キシミ音がする	⑤	コンロバーナー使用中「シャー」と音がしますが、燃焼するガスの通過音です。異常ではありません。	
	⑤ 「シャー」と音がする	⑥	機器が冷えている状態で点火すると、しばらく音がする場合がありますが、温まると音はなくなります。 異常ではありません。	
	⑥ 点火初期に「ポッポッ」と音がする			

ブザー報知とお知らせ表示

※お知らせ表示は、器具栓つまみを「消火の状態」に戻すまで点滅が続きます。

ブザー音	お知らせ表示	部 位	内 容	
《ピピッ》 (5回)	—	コンロ	器具栓つまみ戻し忘れブザーの作動	
《ピー》 (1回)	—	コンロ	消し忘れ消火機能の作動	
	—	前コンロ	高温炒めモードで消し忘れ消火機能の作動	
	電池交換サイン 	—	電池交換のお知らせ	
《ピー》 (2回)	—	コンロ	立消え安全装置の作動	
《ピー》 (3回)	—	コンロ	点火時に着火しなかった	
《ピー》 (4回)	—	コンロ	調理油過熱防止装置の作動 焦げつき自動消火機能の作動	
	—	コンロ	器具栓つまみが動かない スパークが止まらない	
《ピー》 (約10秒間 繰り返し)	—	前コンロ	点火中に高温炒めボタンを長く押し続けている	
	—	コンロ	操作部、温度センサーの故障	
ブザーが 鳴り続ける 《ピー》 (約10秒間)	—	コンロ	電子部品の故障	

原 因	処 置 と 再 使 用 時 の 注 意	参照ページ
安心・安全機能のはたらきにより火が消えたときなどで、器具栓つまみが「点火の状態」のままになっている。	器具栓つまみを「OFF」の位置まで回し、「消火の状態」に戻してください。	14
点火後、約120分連続使用した場合など。	器具栓つまみを「OFF」の位置まで回し、「消火の状態」に戻してください。 コンロを続けて使用する場合は、再度点火してください。	13
設定後、約60分連続使用した場合など。		
乾電池の容量が少なくなってきたとき。	乾電池を交換してください。	15
炎のふき消え、煮こぼれした場合など。	器具栓つまみを「OFF」の位置まで回し、「消火の状態」に戻してください。 ガス栓が閉まっていると着火しません。 器具栓つまみを「ON」の位置まで押し回し、「点火の状態」にしてください。	13・26
ガス栓が閉まっている、器具栓つまみの回し込みが足りない、煮こぼれによる炎口つまり、煮こぼれによる点火プラグの汚れ、着火不良など。	また、バーナーキャップ、点火プラグなどが汚れていると、着火しない場合があります。お手入れしてください。 コンロを続けて使用する場合は、再度点火してください。	16・18 26
調理油の過熱、焦げつき、消し忘れによる過熱、空焼きなど。	器具栓つまみを「OFF」の位置まで回し、「消火の状態」に戻してください。 よくあるご質問 「コンロ」「コンロ使用時に…」 ①調理中に消火する⑤鍋底の焦げつきがきついを確認してください。 調理油過熱防止装置がはたらいて消火した場合は、温度センサーが高温のため、点火しても消火する場合があります。 冷めるのを待ってから再度点火してください。	13・31
部品が故障しています。	点検が必要です。 使用をやめ(器具栓つまみを「OFF」の位置まで回し、「消火の状態」に戻し)、ガス栓を閉め、販売店または、弊社窓口に連絡してください。	—
高温炒めボタンを長く押し続けたとき。	高温炒めボタンを離してください。	20
部品が故障しています。	点検が必要です。 使用をやめ(器具栓つまみを「OFF」の位置まで回し、「消火の状態」に戻し)、ガス栓を閉め、販売店または、弊社窓口に連絡してください。	—

上記の処置方法で直らないときは、販売店または、弊社窓口に連絡してください。

長期間使用しない場合／仕様

長期間使用しない場合

- ・ガス栓を閉め、乾電池を取り出してください。
乾電池を入れたままにすると、乾電池の液漏れにより、機器をいためる原因になります。
- ・機器が冷めていることを確認し、各部の汚れを取り除き、ほこりや異物が入らないようにビニールなどをかけてください。
再度使用される場合は、ビニールなどを完全に取り外し、乾電池を入れてから使用してください。

仕様

商 品 名	ガスビルトインコンロ
型 式 名	DC2020S
点 火 方 式	連続スパーク点火
安 心 ・ 安 全 機 能	・立消え安全装置 ・調理油過熱防止装置 ・消し忘れ消火機能 ・焦げつき自動消火機能
お 知 ら せ 機 能	・器具栓つまみ戻し忘れブザー ・コンロ使用中お知らせブザー
付 属 品	・取扱説明書(保証書付) ・工事説明書 ・お試し用乾電池(単1形マンガン乾電池：2個)
外 形 寸 法	高さ183.5mm×幅283mm×奥行458mm(トッププレート幅315mm)
質 量	6.5kg(本体)

使 用 ガ ス グ ル ー プ		ガス消費量(kW)			ガス 接続口
		前コンロ	後コンロ	全点火時	
都 市 ガ ス 用	13 A	2.97 {2,550kcal/h}	1.05 {900kcal/h}	3.78 {3,250kcal/h}	Rc1/2
	12 A	2.77 {2,380kcal/h}	0.977 {840kcal/h}	3.52 {3,030kcal/h}	
L P ガ ス 用		2.97 {0.213kg/h}	1.05 {0.075kg/h}	3.78 {0.271kg/h}	

※本仕様は改良のためお知らせせずに変更することがありますがご了承ください。

アフターサービス／廃棄時のお願い

アフターサービス

◎保証について

- ・取扱説明書の38ページが保証書になっています。
- ・保証書に記載されているように機器の故障については、一定期間、一定条件のもとに修理いたします。保証書を紛失されますと、無料修理期間内であっても修理費をいただくことがありますので、大切に保管してください。
- ・無料修理期間経過後の修理については、販売店または、弊社窓口にお問い合わせください。修理によって性能が維持できる場合は、有料修理いたします。

◎補修用性能部品の保有期間

- ・補修用性能部品の保有期限は、当製品の製造打ち切り後5年間です。
補修用性能部品とは、製品の性能を維持するための部品です。
ただし、保有期間経過後であっても補修用性能部品の在庫がある場合は、有料修理いたします。

◎修理を依頼するときは

- ・『よくあるご質問』(28～32ページ)、『ブザー報知とお知らせ表示』(33～34ページ)を調べていただき、それでも不都合な場合あるいは、ご不明な場合はご自分で修理しないで販売店または、弊社窓口にお問い合わせください。
- ・依頼される際は、次のことをお知らせください。
 - ①商品名：ガスビルトインコンロ
 - ②型式名・品名コード：トッププレートに貼付の銘板をご覧ください。(12ページ)
 - ③故障または異常の内容(できるだけ詳しく)
 - ④ご住所、お名前、電話番号、道順(できるだけ詳しく)

◎転居されるときは

- ・ガスには都市ガス(数種類)およびLPガスの区分があります。
- ・ガスの種類が異なる地域へ転居される場合には、部品の交換や調整が必要となりますので転居先のガスの種類をご確認のうえ、販売店または、弊社窓口にお問い合わせください。
この場合、調整、改造に要する費用は保証期間中でも有料となります。
- ・この機器は都市ガス13A・12Aもしくは、LPガス仕様により調整、改造できます。ただし、ガスの種類によっては調整できない場合があります。

<修理料金のしくみ>

修理料金は①技術料 + ②部品代 + ③出張料などで構成されています。

①診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・試運転などの作業にかかる料金です。 ③製品のある場所に技術者を派遣するための料金です。
②修理に使用した部品代金です。

廃棄時のお願い

お願い

- ・機器を取り替えた場合、旧機器は専門の業者に処理を依頼してください。
もしお客さまで、旧機器の処理をする場合、乾電池を使用している機器は、乾電池を取り外してから正規の処理を行ってください。
そのままにしておきますと、思わぬ事故の原因になります。

交換部品(消耗部品)／別売部品

交換部品(消耗部品)

(お客さまにて取り替え可能な部品)

- ・下記の交換部品(消耗部品)＜有料＞は、お客さまご自身にてお取り替えしていただくことができます。お求めの場合は、インターネットの販売サイト(<http://ec.harman.co.jp/>)、弊社窓口、販売店にお問い合わせください。

ご存じですか？

簡単！手軽に

交換部品や便利グッズがご購入できます。

詳しくは▶▶ <http://ec.harman.co.jp/>

部品がいたんだり、汚れが落ちにくくなってきたら、お早めに交換してください。

名 称	形 状	現金標準価格：税込	商品番号
ごとく(大) (前コンロ用)		¥3,410 (本体価格 ¥3,100)	DSOL12106106
ごとく(小) (後コンロ用)		¥3,080 (本体価格 ¥2,800)	DSOL12108100
バーナーキャップ(大) (前コンロ用)		¥1,650 (本体価格 ¥1,500)	DG3C32003106
バーナーキャップ(小) (後コンロ用)		¥1,100 (本体価格 ¥1,000)	DG3C32006107

・2019年3月現在の本体価格です。価格、仕様は、予告なく変更される場合があります。あらかじめご了承ください。

※上記部品の価格には、配送費は含まれておりません。ご購入の際は別途配送費が必要となります。

詳しくは、弊社窓口にお問い合わせください。アルカリ乾電池(単1形)は電気店などでお買い求めください。

・交換部品(消耗部品)の詳細は『各部のなまえ』(3～4ページ)を参照してください。

別売部品

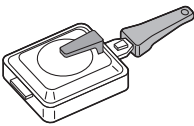
- ・下記の別売部品(有料)は、お客さまご自身にてご購入していただくことができます。お求めの場合は、インターネットの販売サイト(<http://ec.harman.co.jp/>)、弊社窓口、販売店にお問い合わせください。

ご存じですか？

簡単！手軽に

交換部品や便利グッズがご購入できます。

詳しくは▶▶ <http://ec.harman.co.jp/>

名 称	形 状	現金標準価格：税込	商品番号
グリルパン(焼魚等のレシピ付)		¥8,800 (本体価格 ¥8,000)	LP 0138

・2019年3月現在の本体価格です。価格、仕様は、予告なく変更される場合があります。あらかじめご了承ください。

※上記部品の価格には、配送費は含まれておりません。ご購入の際は別途配送費が必要となります。

詳しくは、弊社窓口にお問い合わせください。

保証書

保 証 書

品 名 ガスビルトインコンロ

このたびは当社製品をお買い上げいただきましてありがとうございます。この保証書はおお客様の正常な使用状態において万一、機器本体が故障した場合には、本書の記載内容で無料修理を行うことを約束するものです。

<無料修理規定>

- 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った正常な使用状態で故障した場合には、お買い上げの販売店または、弊社が無料修理致します。
- 保証期間内に故障し、無料修理を受ける場合は、お買い上げの販売店または、弊社にご依頼のうえ、本書をご提示ください。なお、離島および離島に準ずる遠隔地への出張修理を行った場合には、出張に要する実費を申し受けます。
- ご転居の場合は、事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
- ご贈答品で本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼できない場合には、弊社にご相談ください。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。(This warranty is valid only in Japan.)
- 本書は再発行致しませんので、紛失しないよう大切に保管してください。
- 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
 - 住宅用途以外（業務用：喫茶店、飲食店など）でご使用になられた場合による故障および損傷。
 - 車両、船舶に備品として搭載された場合に生じた故障および損傷。
 - 工事説明書および取扱説明書などに指示する方法以外の工事設計または取付工事などが原因で生じた不具合、故障および損傷。
 - お買い上げ後、取付場所の移動・落下などによる故障および損傷。
 - 建築躯体の変形など住宅部品本体以外の不具合に起因する機器の不具合および塗装の退色、メッキの軽微な傷、錆など設計仕様の範囲内の感覚的な現象の場合。
 - 適切な使用、維持管理を行わなかった場合および不当な修理や改造による故障および損傷。
 - ガスの供給事情による故障および損傷。
 - 指定規格以外のガス（ガスグループ）および電気（指定外の電池含む）で使用された場合。
 - 火災・爆発などの事故、落雷・地震・噴火・風水害・煤煙・異常気象などの天災・地変および戦争・暴動など破壊行為による故障および損傷。
 - 海岸付近・温泉地などの地域における塩害・腐食性の有害ガスおよびほこりなどの空気環境に起因する故障および損傷。
 - ねずみ・鳥・くも・ゴキブリなどの動物の侵入および行為に起因する故障および損傷。
 - 消耗部品の取り替えおよび保守などの費用。
 - 本書の提示がない場合。
 - 本書に保証期間、お客様名、販売店名の記入捺印のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合。

お 客 様	お 名 前	TEL
	ご 住 所 〒	
保 証 期 間	お買い上げ 年 月 日から 1 年間	
販 売 店	店 名	TEL
	住 所 〒	

※保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために、お客様の記載内容を利用させていただく場合がありますので、ご了承ください。

※この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従って、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い上げの販売店または、弊社にお問い合わせください。

※保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について詳しくはアフターサービス欄をご覧ください。

株式会社 **ハーヴィ**

〒554-0023
大阪市此花区春日出南3-2-10

年 月 日	修 理 記 録 (修 理 内 容)	サ ー ビ ス 員 ⑩

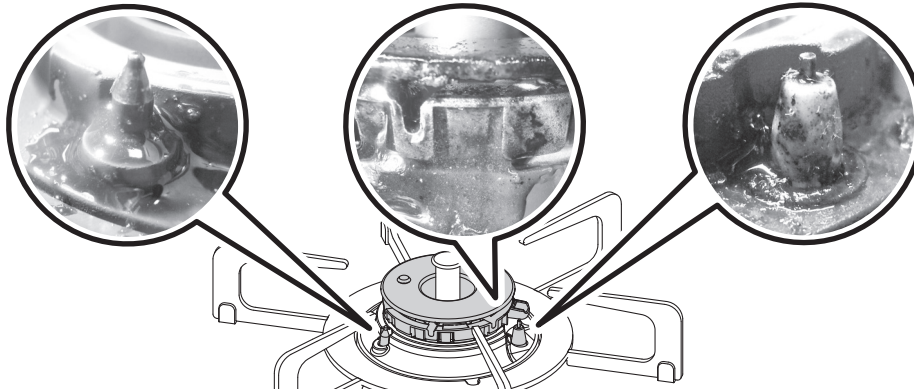
修理を依頼される前に

点火しないとき・・・ 下記の部品が汚れていませんか？

立消え安全装置

バーナーキャップ

点火プラグ



バーナーキャップ

水洗い後、水気や汚れをふき取ってください。

立消え安全装置、点火プラグ

煮こぼれなどの汚れをふき取ってください。

水分は確実にふき取ってください。

※詳しくは、「お手入れ」(26ページ)を参照してください。



長年ご使用のガス機器の点検をぜひ！

- ・ときどきガスくさい。
- ・ボタンやつまみの操作が不確実。
- ・焦げくさいにおいがする。
- ・点火しにくい。
- ・その他の異常や故障がある。

以上のような症状のときは、ガス栓を閉め、故障や事故防止のため、必ず販売店に点検、修理を相談してください。

修理 点検 商品についての
お問い合わせは・・・

株式会社ハーマン
コンタクトセンター 0120-38-8180

通話料金
無料

携帯電話からのお問い合わせは・・・

0570-064-780
(通話料がかかります)

コンタクトセンターにおかけいただくと音声ガイダンスが流れますので、お問い合わせの内容によって下記の番号をお選びください。

1 修理の受付・故障に関する お問い合わせ	2 有償点検・所有者情報に 関するお問い合わせ	3 商品に関するお問い合わせ・ その他	4 交換部品(消耗品)に関する お問い合わせ
■ 修理受付センター 【受付時間】 365日24時間 修理受付 ※修理訪問は日中、地域により休日有り FAX (078)928-5499	■ 点検受付センター 【受付時間】 ※土・日・祝日・夏期休暇・年末年始を除く 〈月～金〉 9:00～17:30	■ お客さま相談センター 【受付時間】※年末年始を除く 〈月～金〉 9:00～18:00 〈土・日・祝〉 9:00～17:00 FAX (078)927-5070	【受付時間】 ※土・日・祝日・夏期休暇・年末年始を除く 〈月～金〉 9:00～17:00 FAX (078)928-2311

お問い合わせ
について

- PHS・IP電話等でつながらない場合は、一般電話・携帯電話からおかけ直してください。
- お問い合わせの内容確認と正確な対応のため、録音させていただく場合がございます。
- 正確な対応のため、発信電話番号通知をお願いしております。
- 非通知設定をご利用の場合は、はじめに「186」をダイヤルし発信電話番号通知のご協力をお願いいたします。

個人情報の
取り扱いについて

- ご連絡いただいた個人情報はお問い合わせ対応に必要な範囲で使用し、当社規定により厳格に管理します。
 - なお、個人を特定できない情報に加工し、サービス向上や製品開発等に利用させていただきます。
 - ご連絡いただいた個人情報に誤りがある場合、当社からご連絡できない場合があります。
 - ご連絡いただいた個人情報は、以下の場合を除き、第三者に開示・提供致しません。
- (1) 修理や各種ご案内・お問い合わせ対応のために当社関係会社や販売店等へ連絡する場合
(2) 機密保持契約を締結した外部業者に業務を委託する場合
(3) 法令等に基づく場合